

個人投資家さま向け会社説明会



遠州トラック

2026年6月26日
遠州トラック株式会社
(東証スタンダード市場 9057)

I. 会社概要	3	III - 4. 地域貢献・社会貢献	39
I - 1. 会社概要	4	IV. 業績の概要	40
I - 2. 会社沿革	5	IV - 1. 2026年3月期業績	41
I - 3. 経営理念（ミッション・ビジョン・バリュー）	6	IV - 2. 長期業績推移	42
I - 4. データでみる遠州トラック	7	V. 中期経営計画	43
I - 5. 業績推移	15	V - 1. 中期経営計画（概要）	44
II. 事業内容	17	V - 2. 中期経営計画（定量目標）	46
II - 1. 輸送事業	18	V - 3. 中期経営計画（事業内容）	47
II - 2. 倉庫事業	19	VI. 当社株式について	51
II - 3. 事業エリア	20	VI- 1. 株価推移	52
III. 遠州トラックの強み	21	VI- 2. 株主還元	54
III - 1. 遠州トラックの強み	22	VI- 3. 株主優待	55
III - 2. 戦略商品	26		
III - 3. 安全・品質に対する取り組み	38		

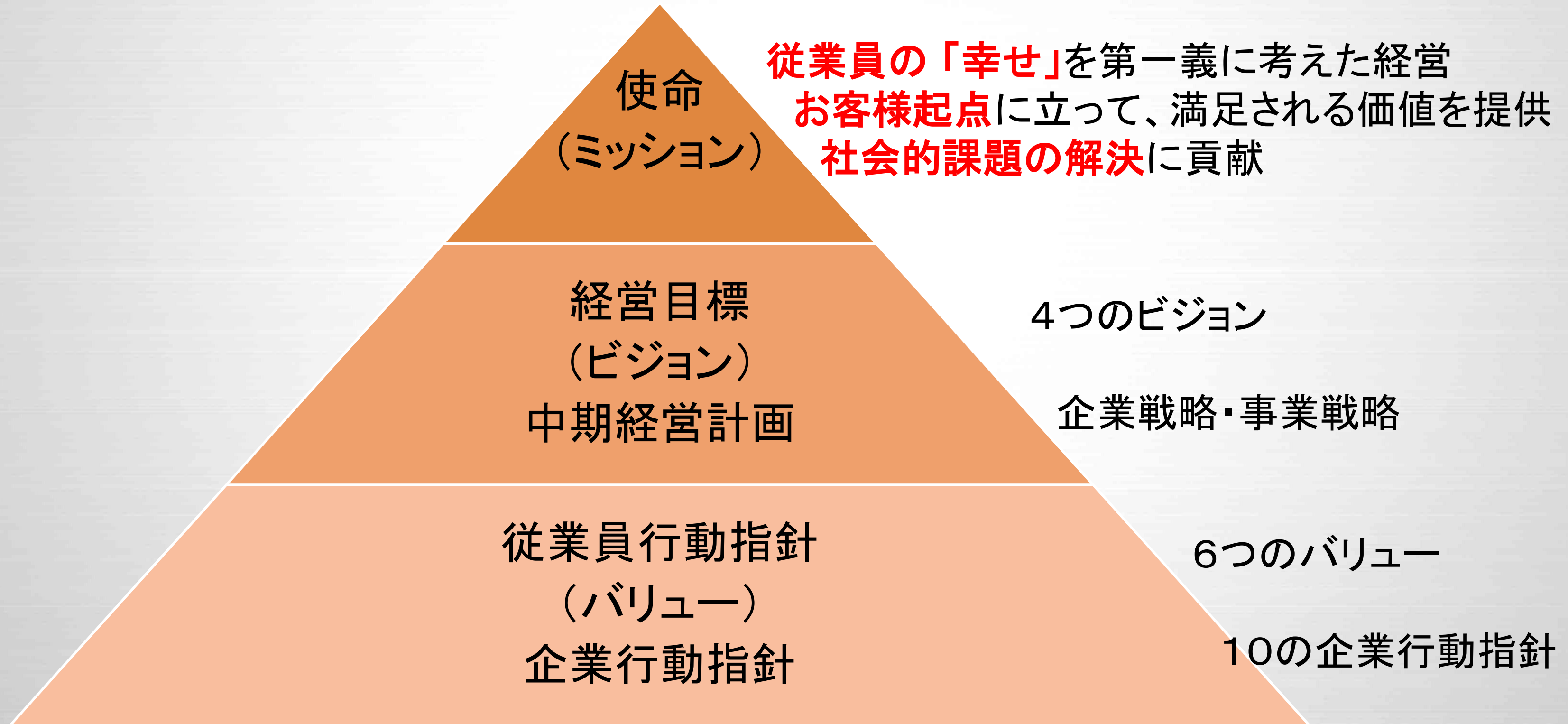
I. 会社概要

商号	遠州トラック株式会社
代表取締役会長	澤田 邦彦
代表取締役社長	金原 秀樹
本社	静岡県袋井市木原22番地の1
設立日	1965年(昭和40年)8月16日
資本金	12億8,430万円
従業員数	連結1,378 名 (2026年3月31日現在、嘱託およびパートタイマーを除く)
事業内容	運送業・倉庫業他
株主構成	株式会社住友倉庫60%他
上場証券取引所	東証スタンダード(証券コード: 9057)
単元株	100株

I - 2. 会社沿革

1965年(昭和40年)	遠州トラック株式会社を設立、貨物自動車運送事業を開始
1979年(昭和54年)	倉庫業認可取得、倉庫事業を開始
1982年(昭和57年)	株式会社藤友物流サービス(現 連結子会社)を設立 自動車運送取扱事業登録、運送取扱業務を開始
2002年(平成14年)	遠州トラック関西株式会社の株式100%を取得(現 連結子会社)
2004年(平成16年)	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2006年(平成18年)	株式会社住友倉庫が当社株式を取得
2018年(平成30年)	インターネット通販の宅配業務に参入 中継物流拠点「コネクトエリア浜松」を開設
2020年(令和 2年)	小笠運送株式会社の株式100%を取得(現 連結子会社)
2022年(令和 4年)	東京証券取引所のスタンダード市場に移行
2023年(令和 5年)	静岡県袋井市木原22番地の1に本社を移転

I - 3. 経営理念（ミッション・ビジョン・バリュー）

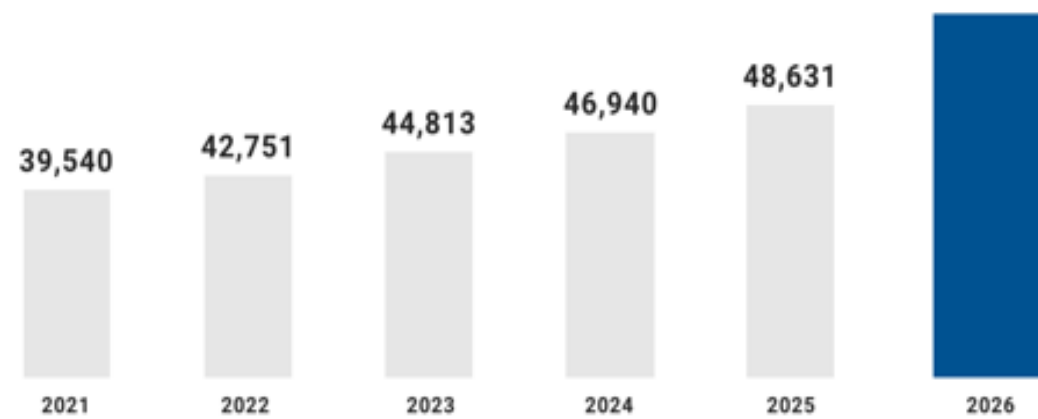


I - 4. データでみる遠州トラック

売上の推移

単位100万円

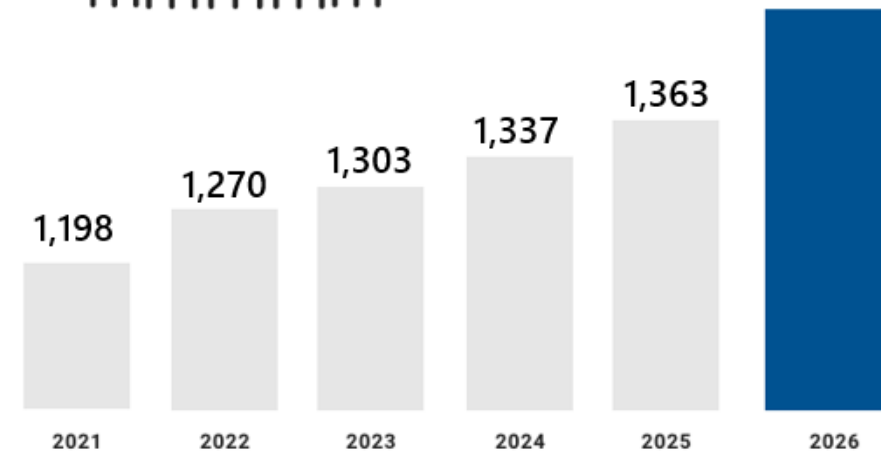
49,947 百万円



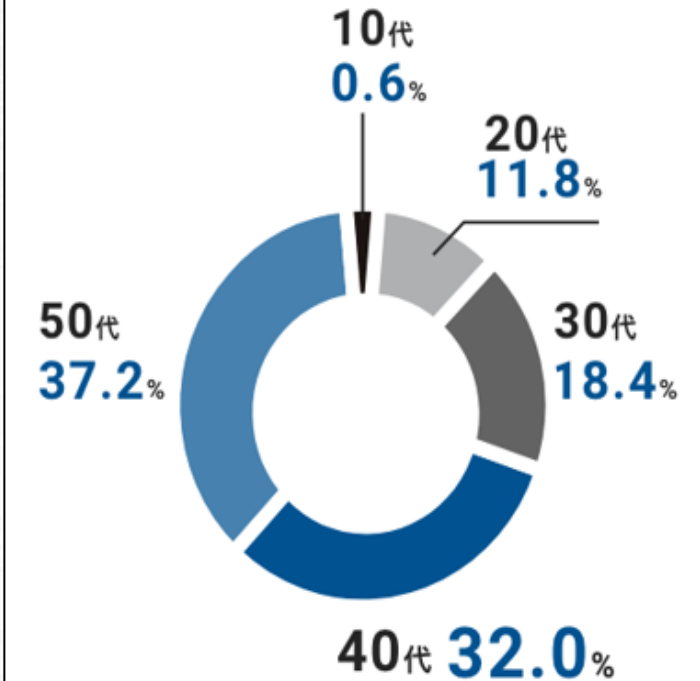
従業員の推移



1,378 名



年齢構成比



女性比率

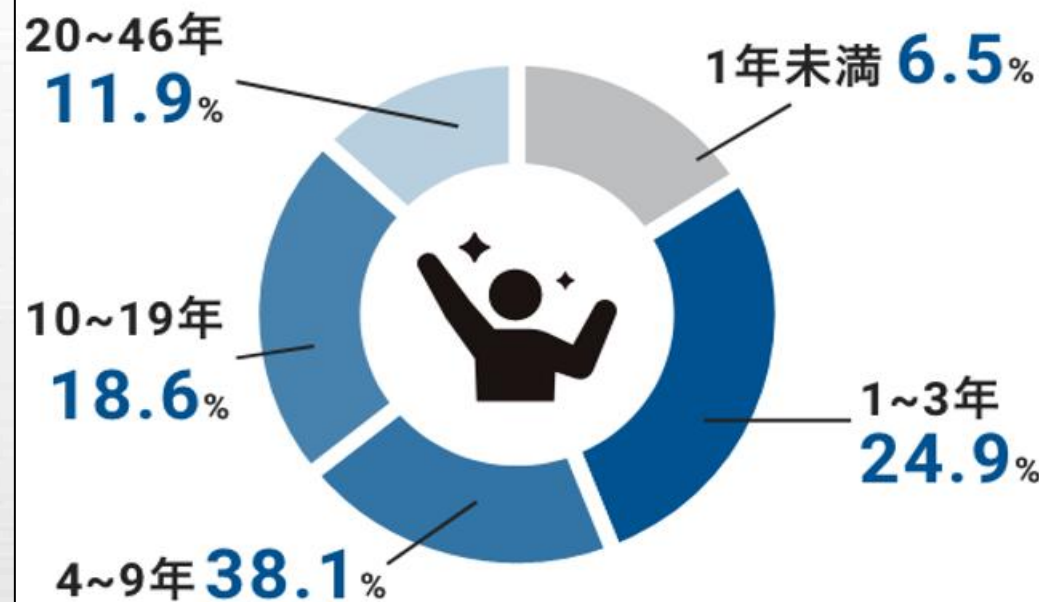


18.6%



81.4%

勤続年数



新卒、中途割合

新卒



13.6%

中途



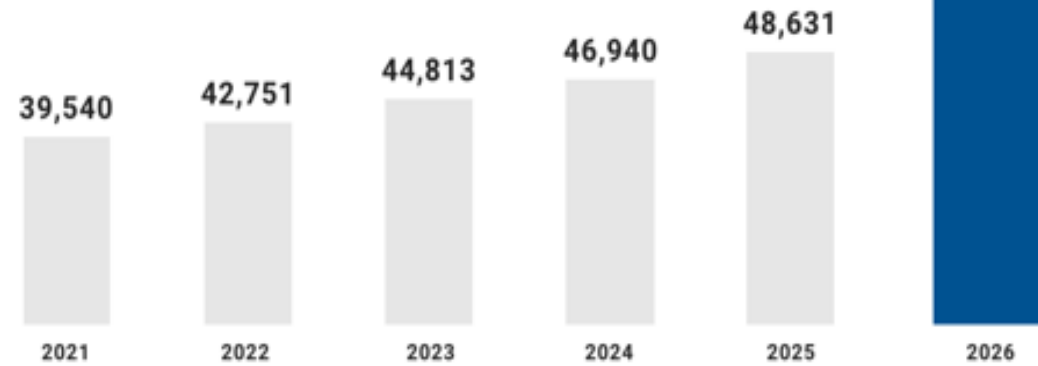
86.4%

I - 4. データでみる遠州トラック

売上の推移

単位100万円

49,947 百万円



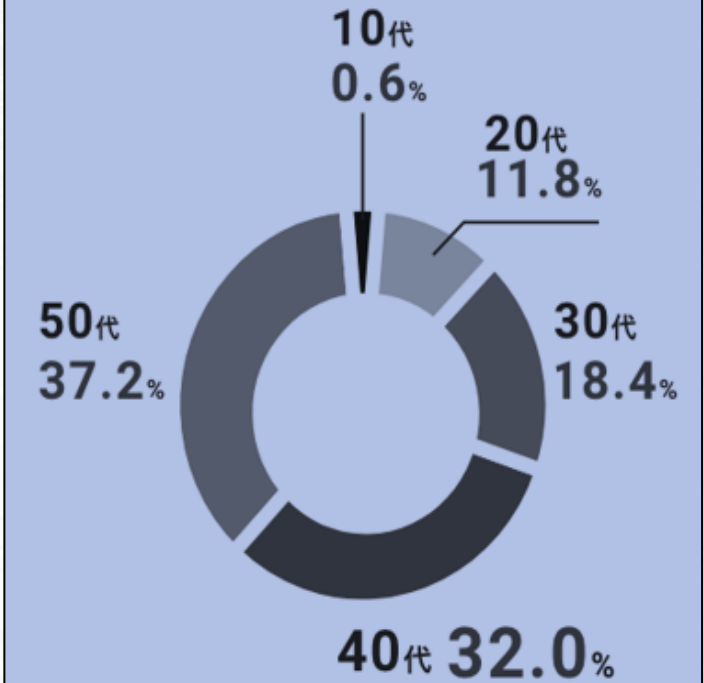
従業員の推移



1,378 名



年齢構成比



女性比率

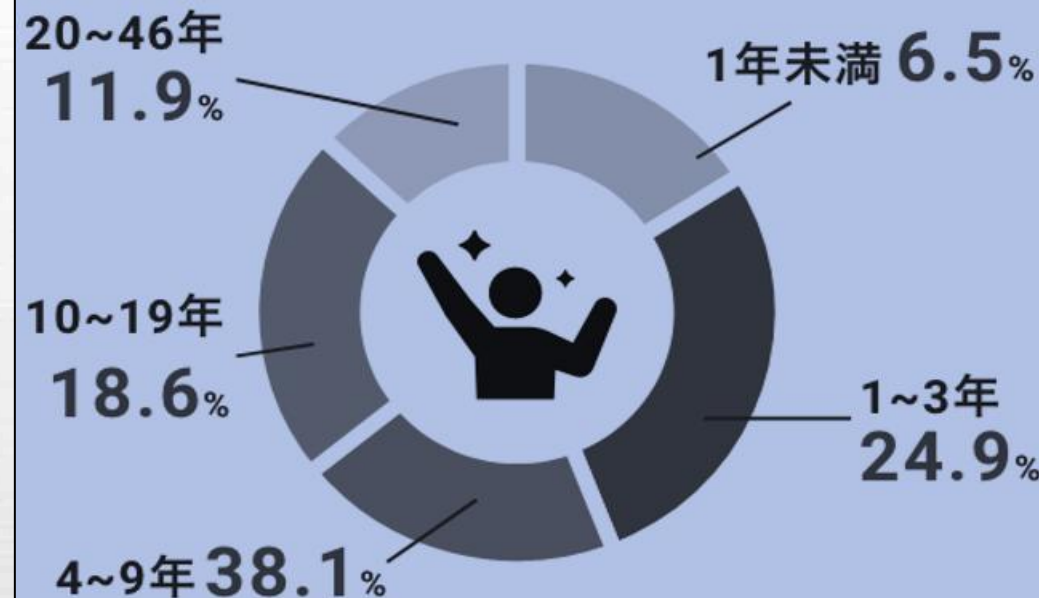


18.6%



81.4%

勤続年数



新卒、中途割合

新卒

中途



13.6%



86.4%

I - 4. データでみる遠州トラック

売上の推移

単位100万円

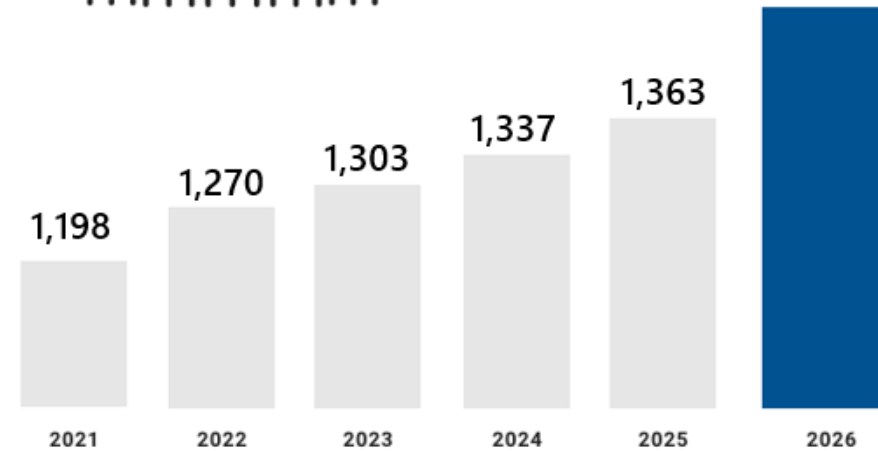
49,947 百万円



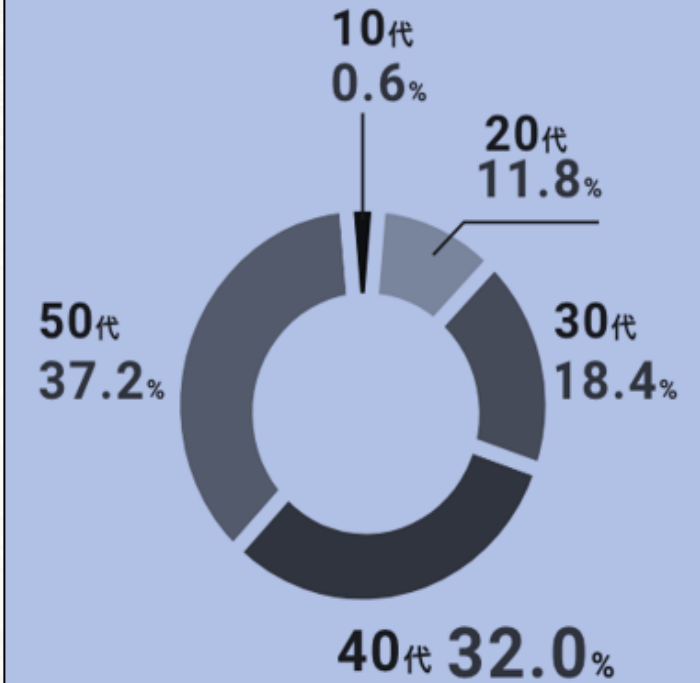
従業員の推移



1,378 名



年齢構成比



女性比率

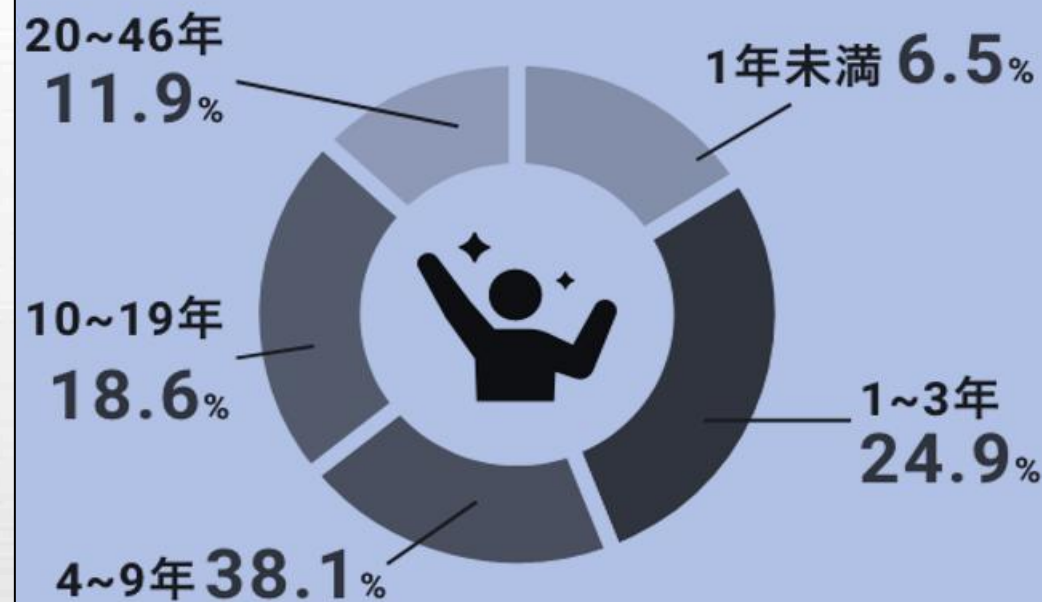


18.6%



81.4%

勤続年数



新卒、中途割合

新卒

中途



13.6%



86.4%

I - 4. データでみる遠州トラック

売上の推移

単位100万円

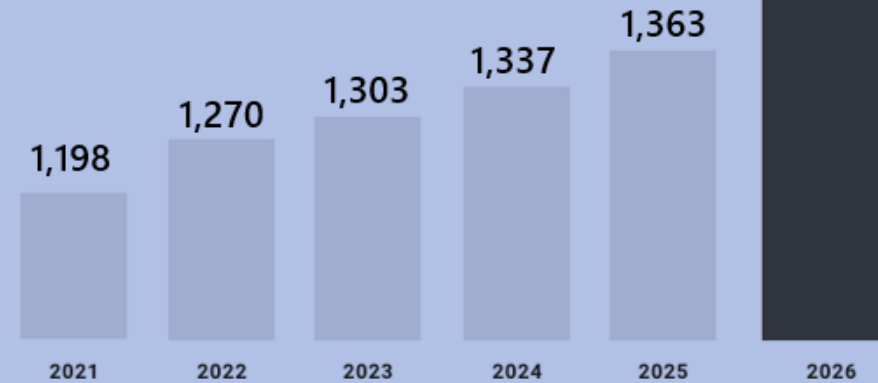
49,947 百万円



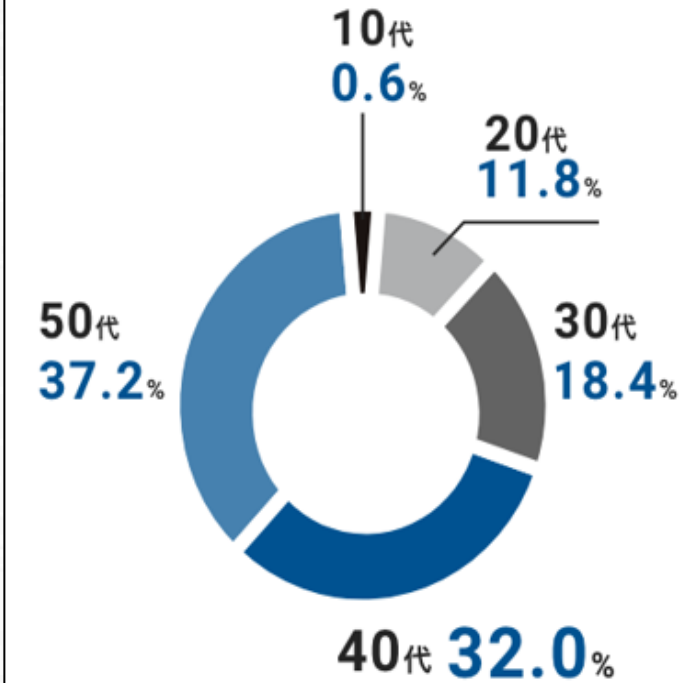
従業員の推移



1,378 名



年齢構成比



女性比率

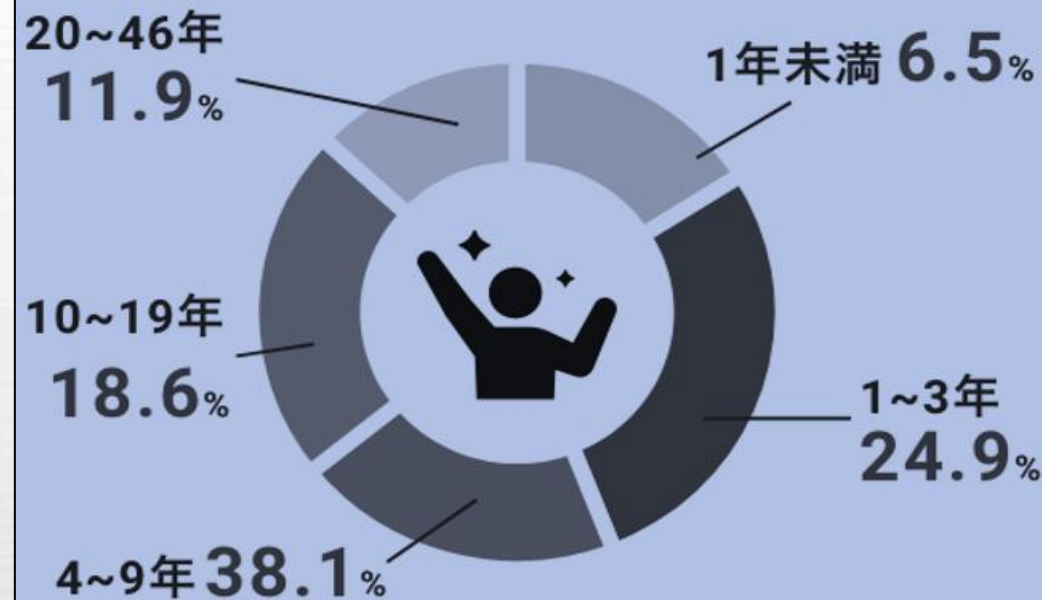


18.6%



81.4%

勤続年数



新卒、中途割合

新卒

中途



13.6%



86.4%

I - 4. データでみる遠州トラック

売上の推移

単位100万円

49,947 百万円



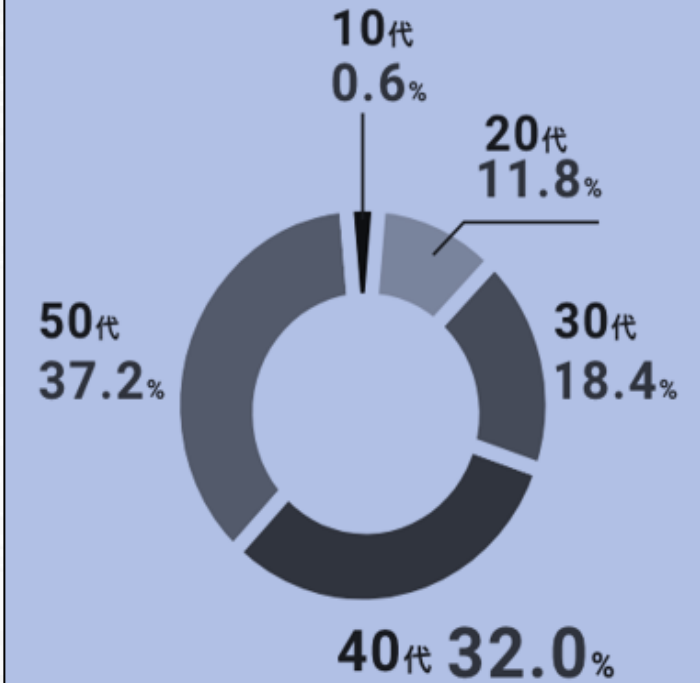
従業員の推移



1,378 名



年齢構成比



女性比率

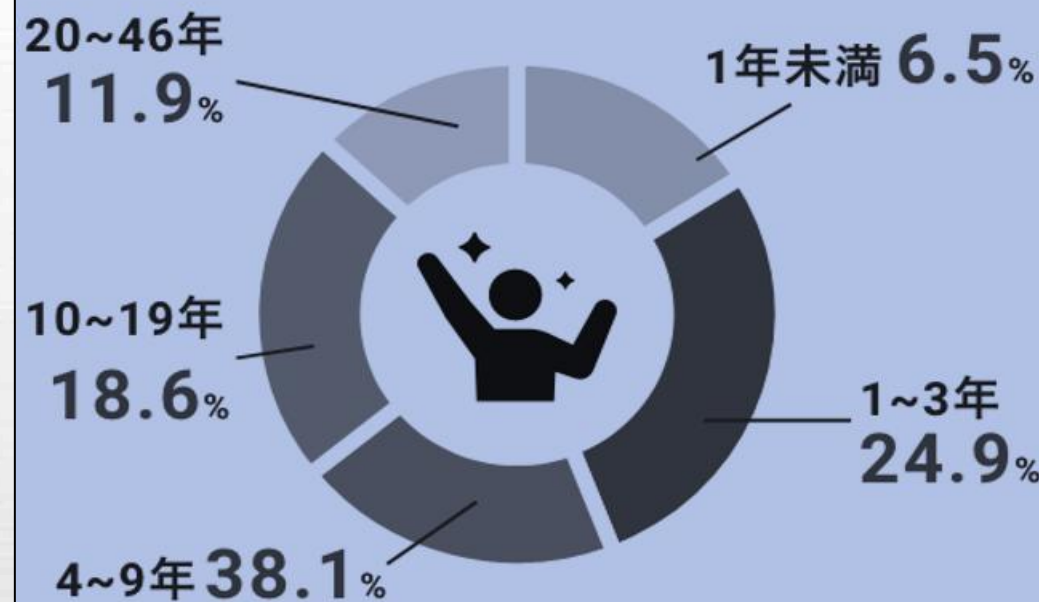


18.6%



81.4%

勤続年数



新卒、中途割合

新卒

中途



13.6%



86.4%

I - 4. データでみる遠州トラック

売上の推移

単位100万円

49,947 百万円



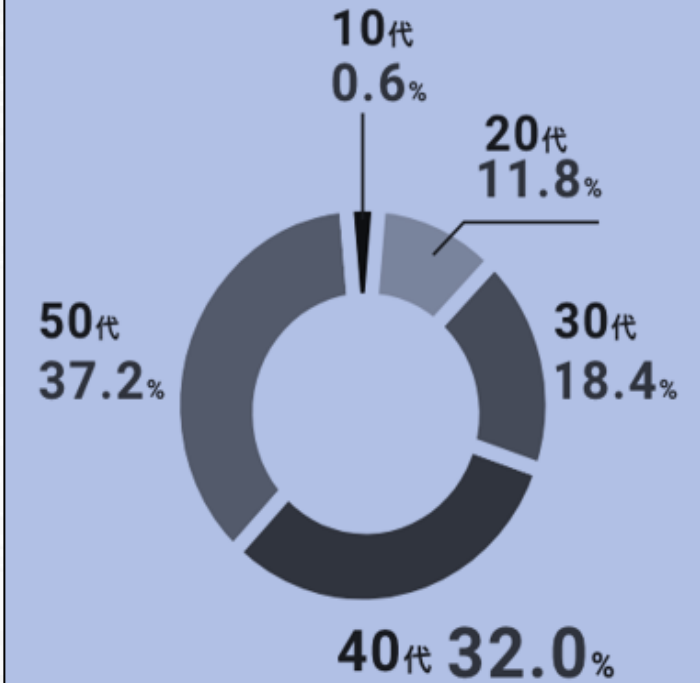
従業員の推移



1,378 名



年齢構成比



女性比率

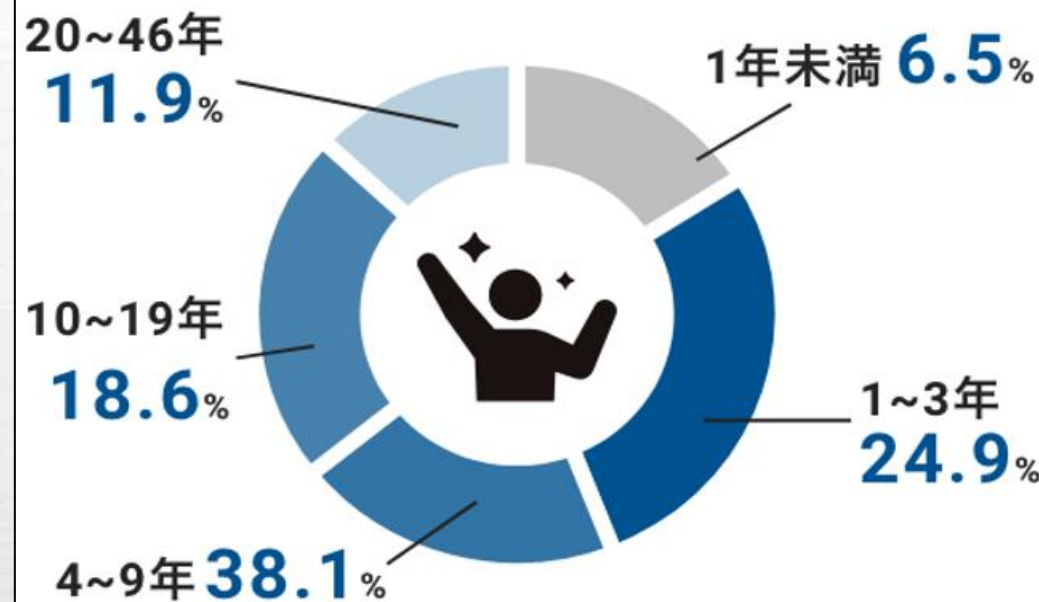


18.6%



81.4%

勤続年数



新卒、中途割合

新卒



13.6%

中途



86.4%

I - 4. データでみる遠州トラック

売上の推移

単位100万円

49,947 百万円



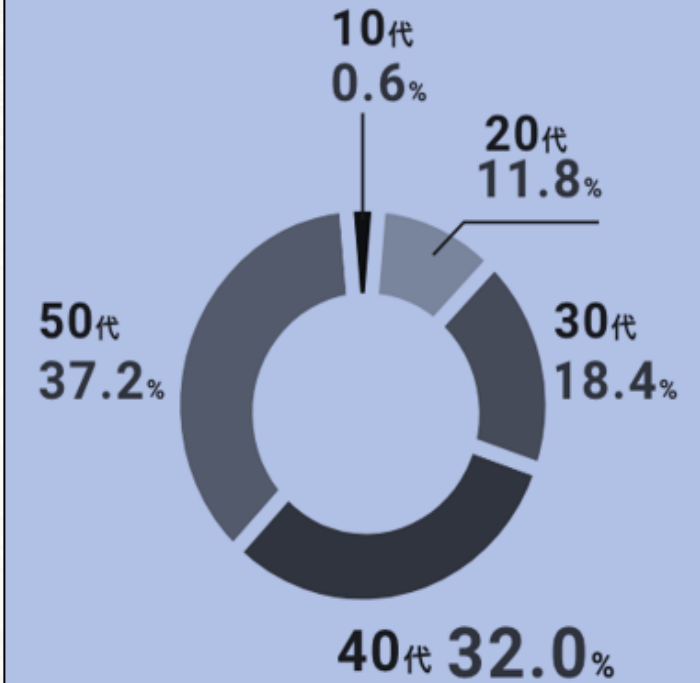
従業員の推移



1,378 名



年齢構成比



女性比率

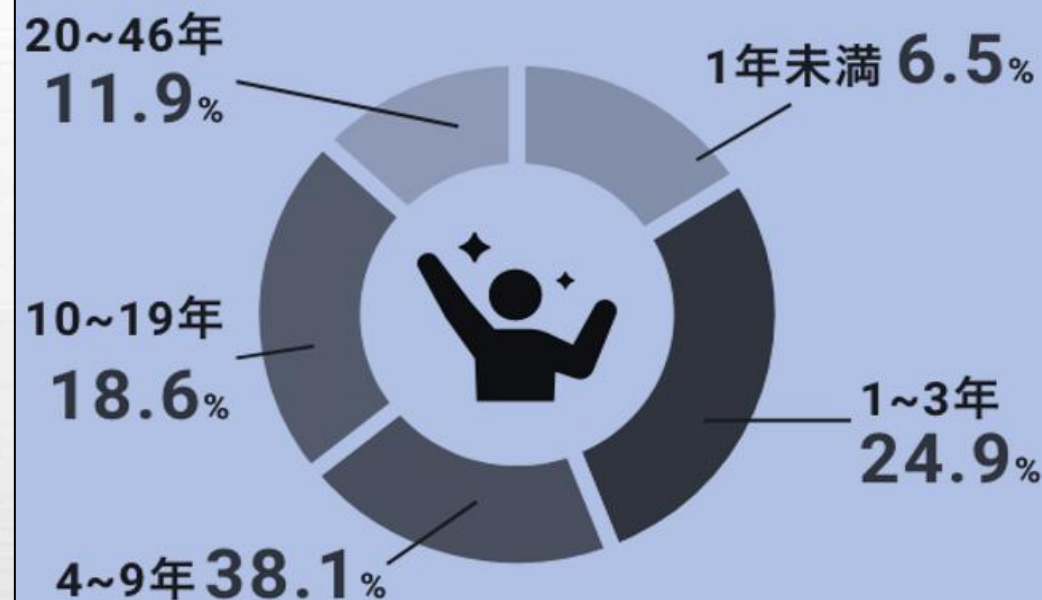


18.6%



81.4%

勤続年数



新卒、中途割合

新卒



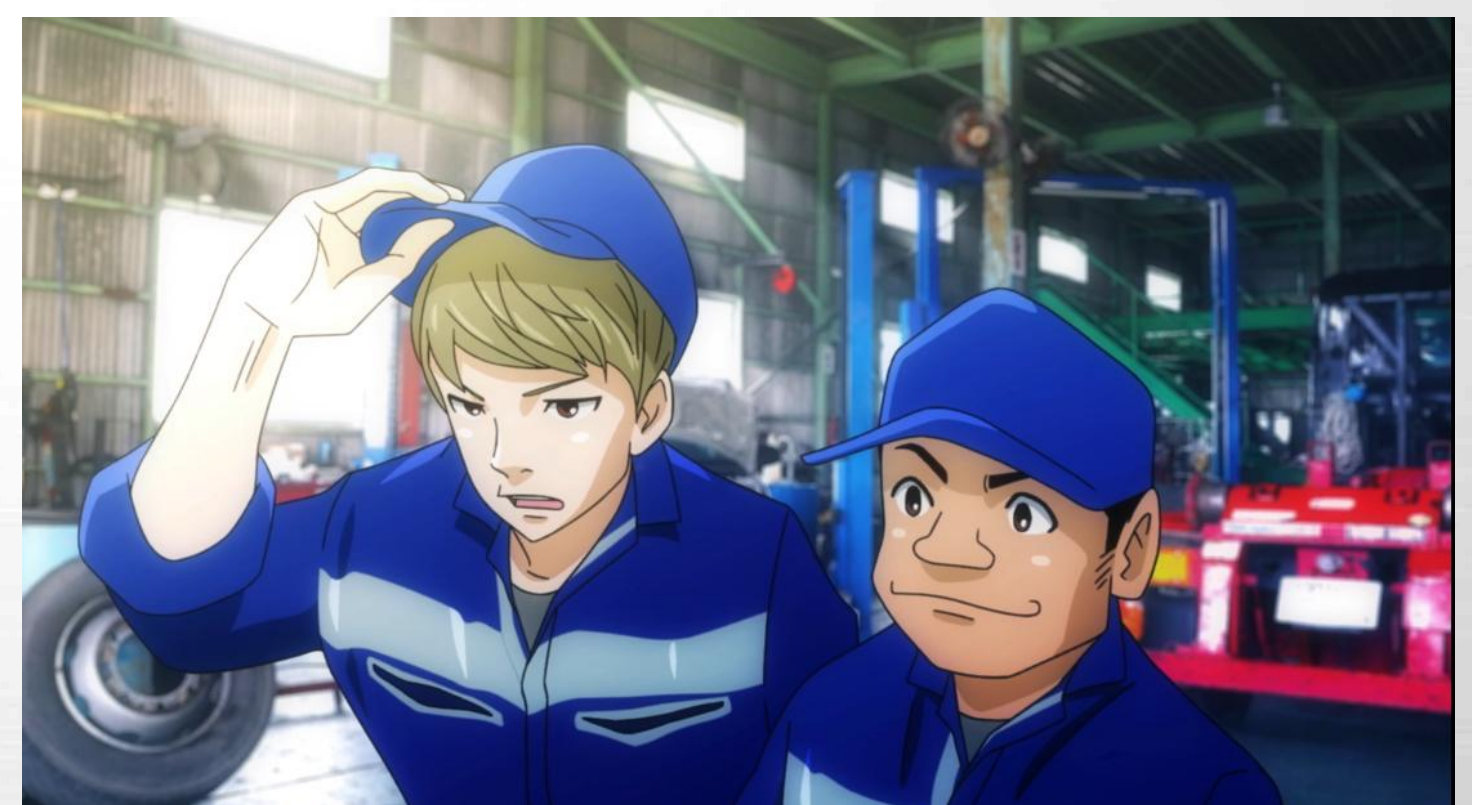
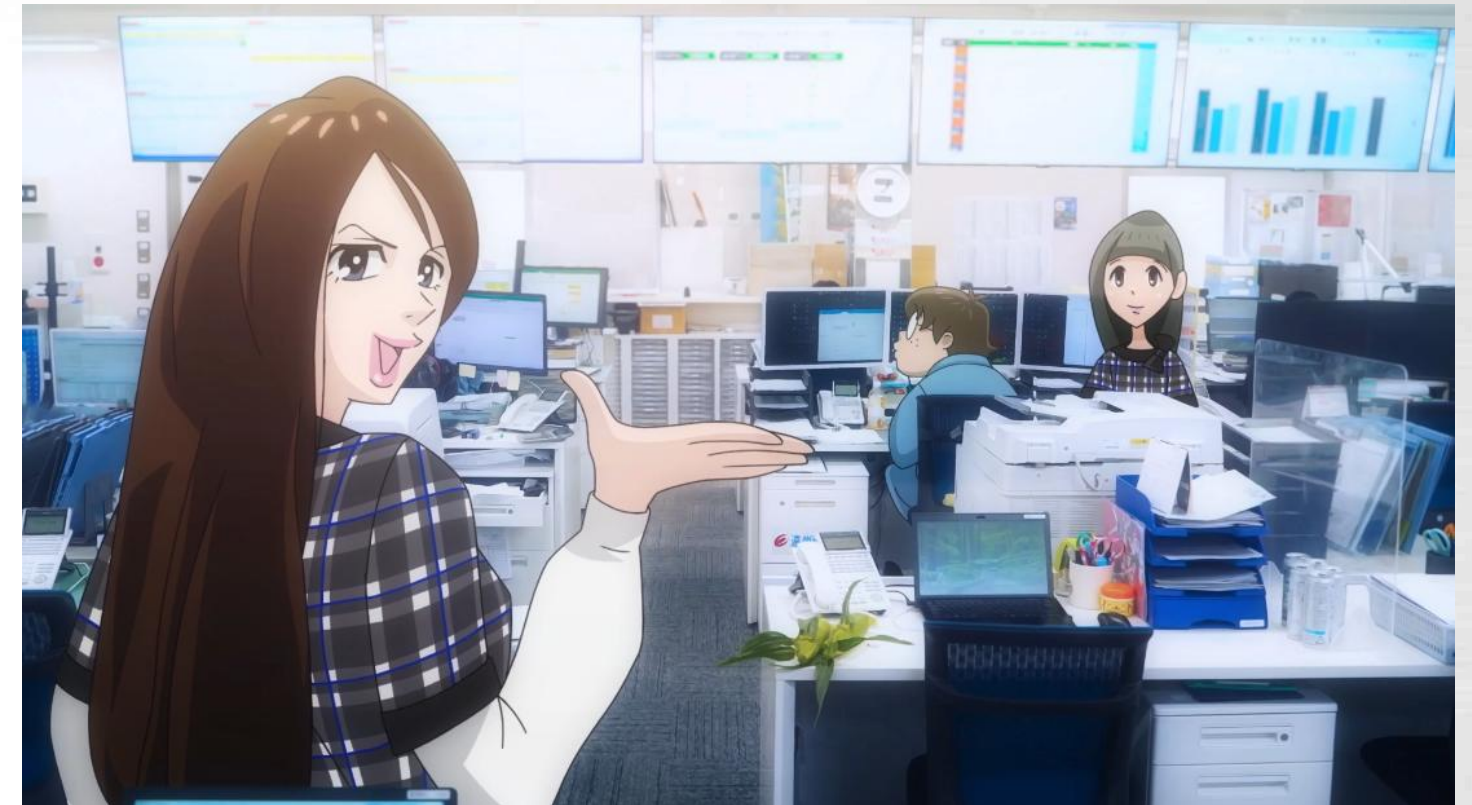
13.6%

中途

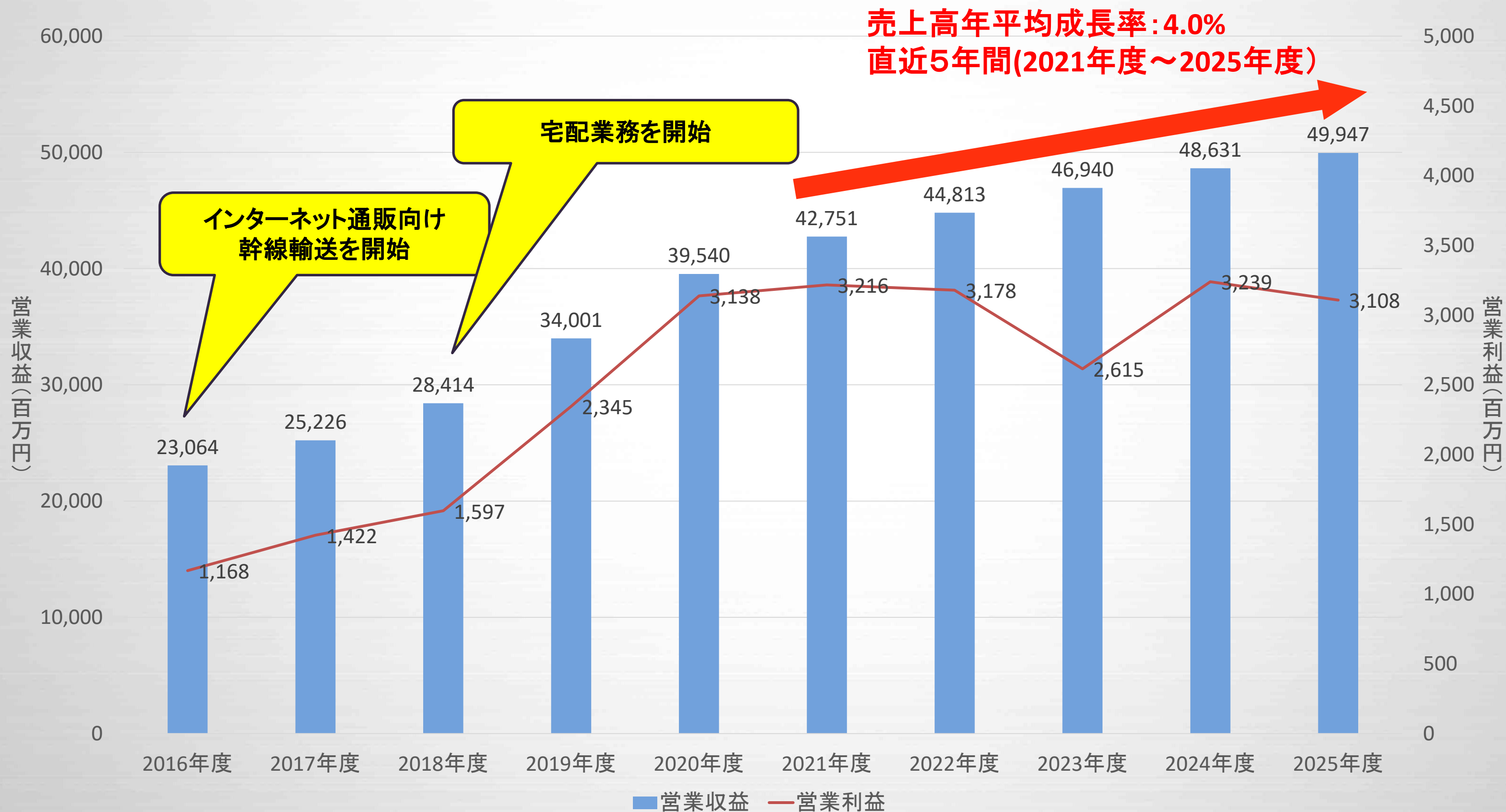


86.4%

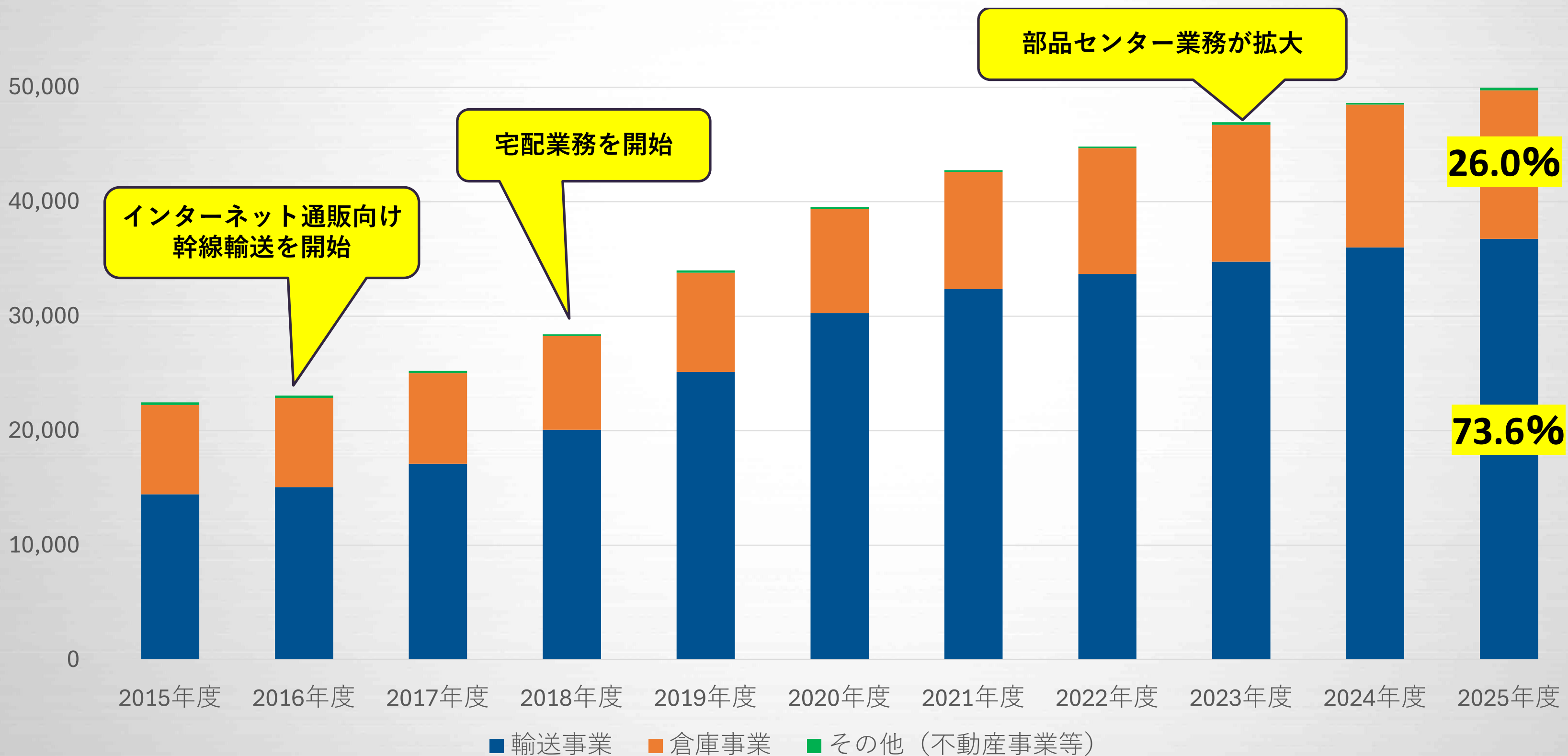
I - 4. データでみる遠州トラック



I - 5. 業績推移



I - 5. セグメント別営業収益推移



Ⅱ. 事業内容

自社車両を550台以上保有し、豊富な車輌ラインナップで、
多様化するニーズに柔軟に対応。



セミトレーラ ウイング



増トン 低床ウイング



4トン ウイング



2トン ウイング



引越センター仕様



株式会社アクタス様仕様



株式会社カインズ様仕様



横浜ゴム株式会社様仕様

多種多様な物流倉庫のラインナップで、多様なニーズに対応。自動化・無人化システムを積極的に導入し、物流センターを効率的に運営。



袋井ロジスティクスセットセンター



都田第2倉庫



厚木要冷センター



細江定温危険物倉庫



藤友物流白鳥西チルドセンター



ピッキングアシストロボット



無人搬送ロボット



仕分けソーター

II - 3. 事業エリア

本社のある静岡県西部地区を中心に、26の物流拠点を展開。提携協力会社の車輛や施設を加えて、国内のほぼすべてのエリアをカバー。



自社営業拠点



関係会社および
協力会社主要拠点

Ⅲ. 遠州トラックの強み

III - 1. 遠州トラックの強み①

(1) 関東-関西間に多数の「現場」(物流資産)を所有



III - 1. 遠州トラックの強み①

(2) お客様のニーズに合わせ、協力会社と提携しながら拠点を新設し、最適な物流サービスを提供

当社グループの体制の強み

- ・車両550台以上
- ・全国26拠点
- ・配車センター配置
(24時間体制・集中管理)
- ・中継拠点の設置
- ・ドライバー教育の充実
- ・自社整備体制



顧客の需要

- ・物量変動に対する柔軟な対応
- ・イレギュラーに対する迅速な対応
- ・安心安全な輸送
- ・最適な物流提案

協力会社と提携して

- ・日本全国に400社以上
- ・日本全国への配送網
- ・ドライバー教育の充実



取引先や取扱製品が工業系から商業系まで多岐にわたり、かつバランスが取れており、リスク分散がしやすい。

商業系貨物 46%

工業系貨物 54%

商業系貨物のイメージ



食品・飲料



アパレル・ファッション雑貨



家電・AV機器



日用品・生活雑貨



eコマース(通販商品)



家具

工業系貨物のイメージ



機械部品



金属・鋼材



電機・電子部品



化学製品・原料



紙・パルプ製品

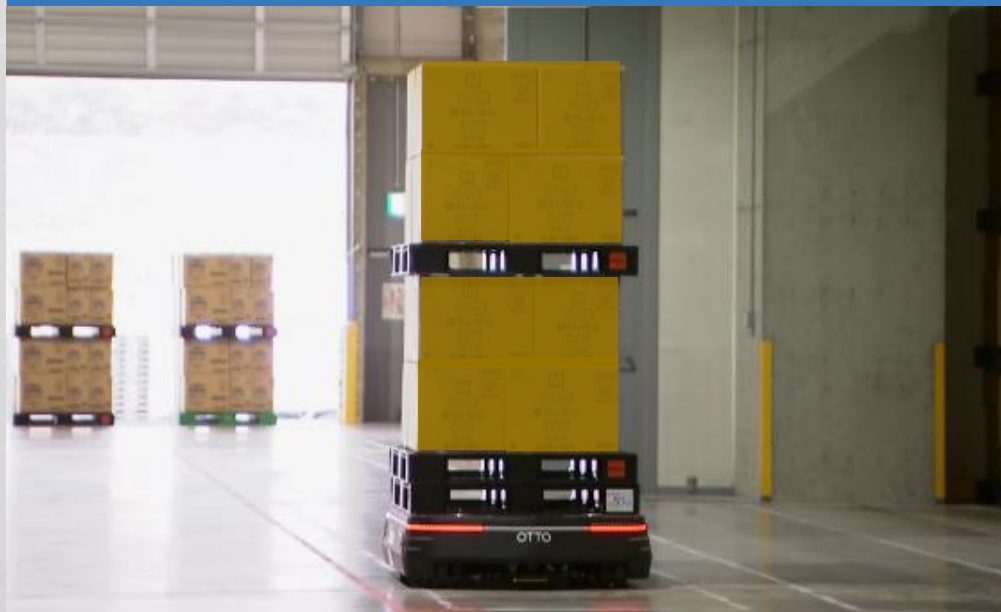


ゴム製品・素材

III - 1. 遠州トラックの強み③

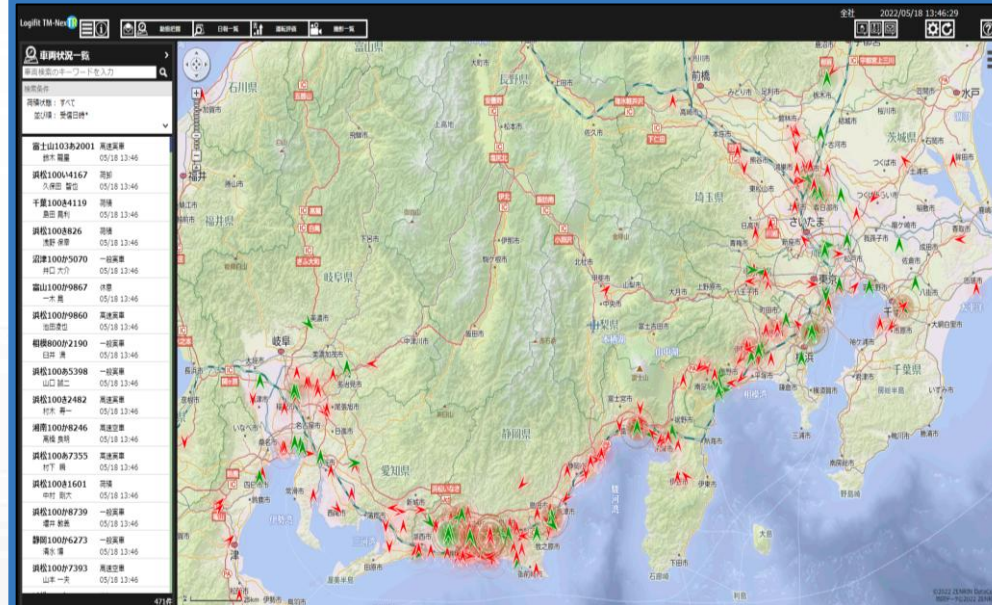
先端技術の積極的な導入により、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進、物流サービスのイノベーションに挑戦。

最新技術の導入



効率化・省人化

AI、IoT、RPAの活用



生産性向上

自動配車システムを 全社展開



全社最適で効率的な
配車を実現

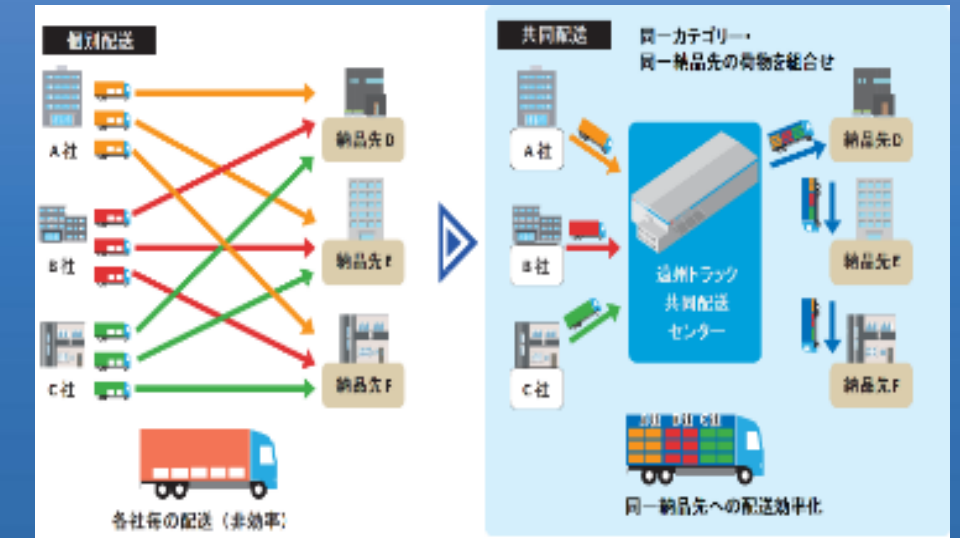
中継輸送



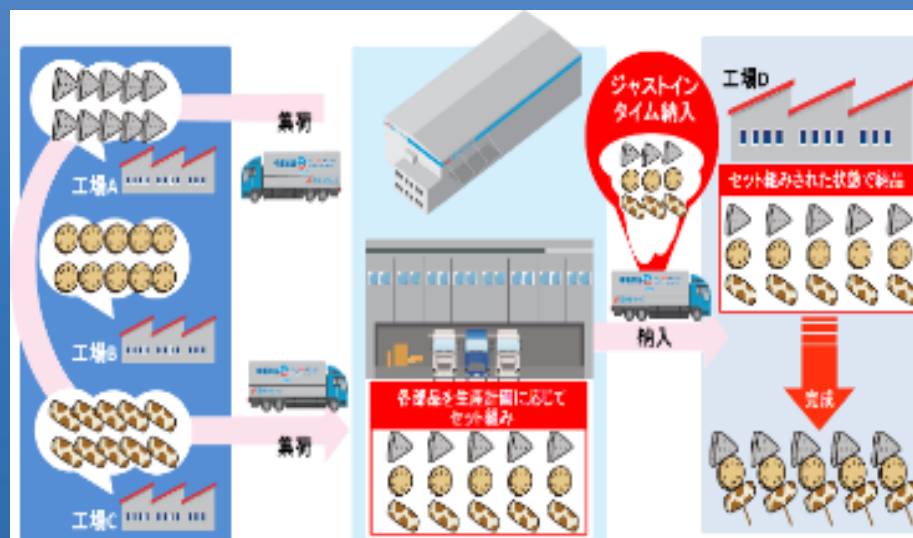
EC物流



共同配送



調達物流



物流拠点



協力会社ネットワーク



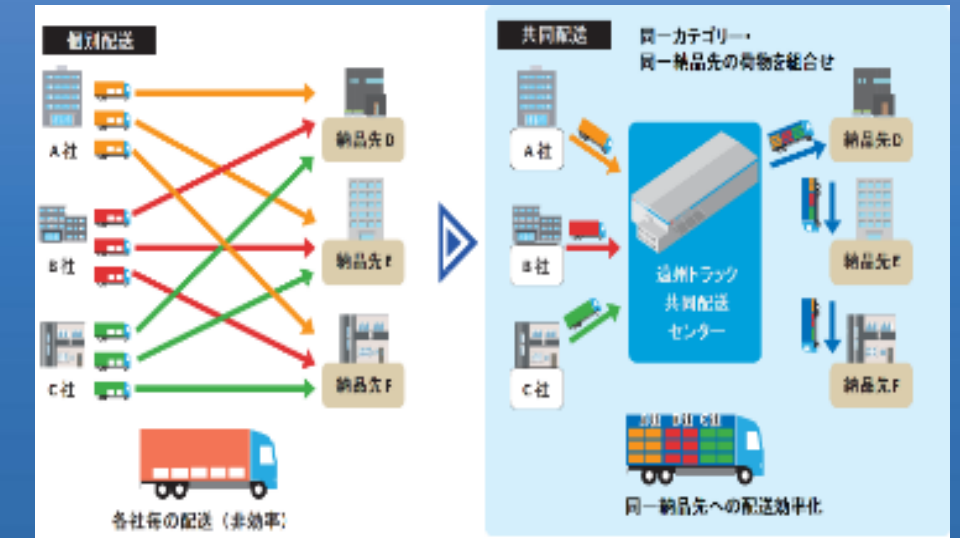
中継輸送



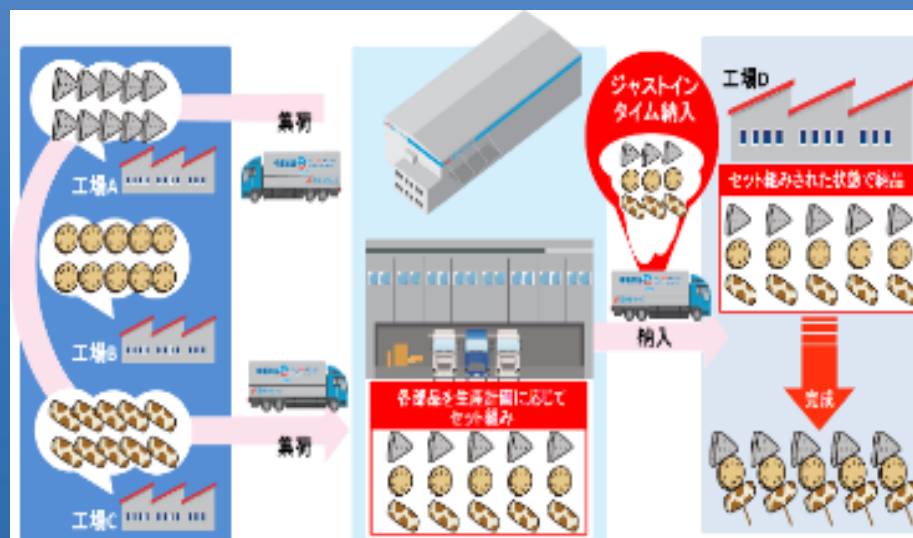
EC物流



共同配送



調達物流



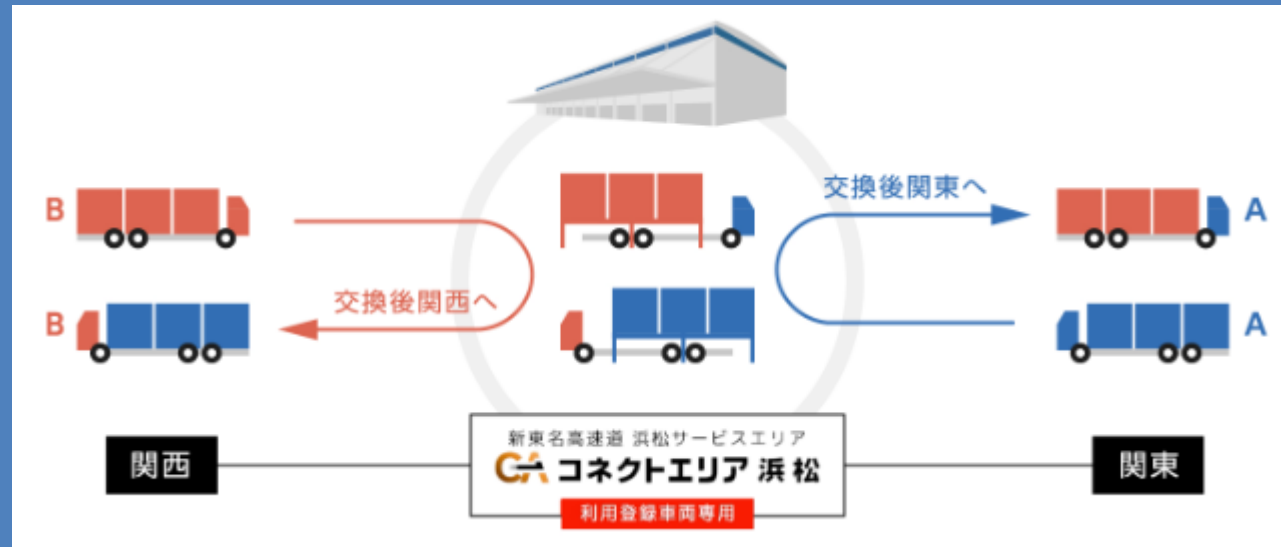
物流拠点



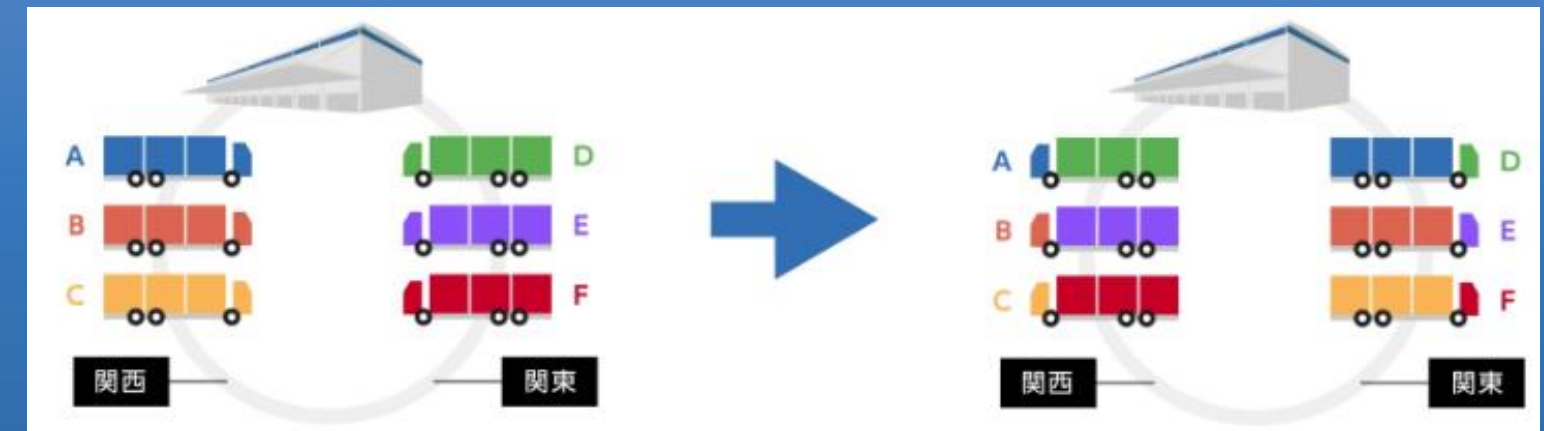
協力会社ネットワーク



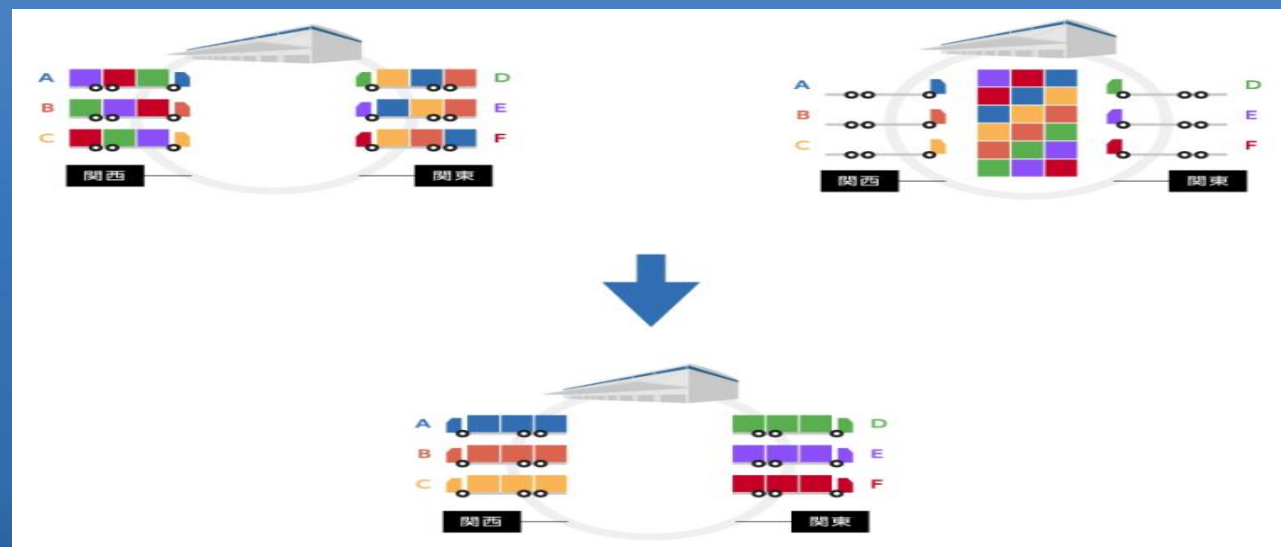
e-change・コネクタエリア浜松



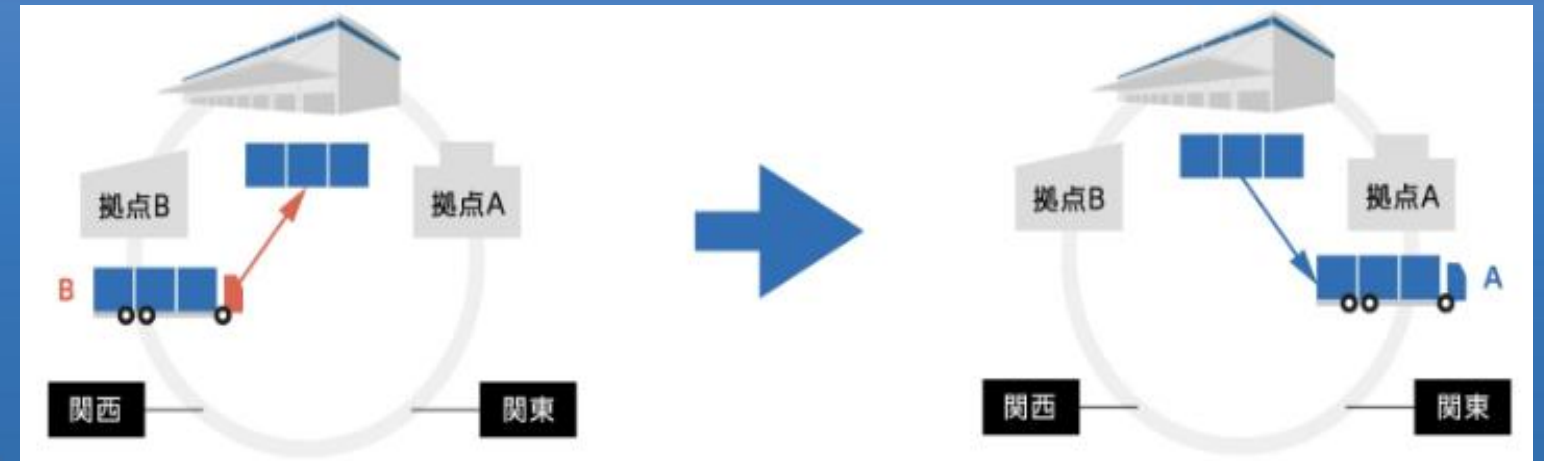
積み替えプラットフォーム



集荷配送中継方式



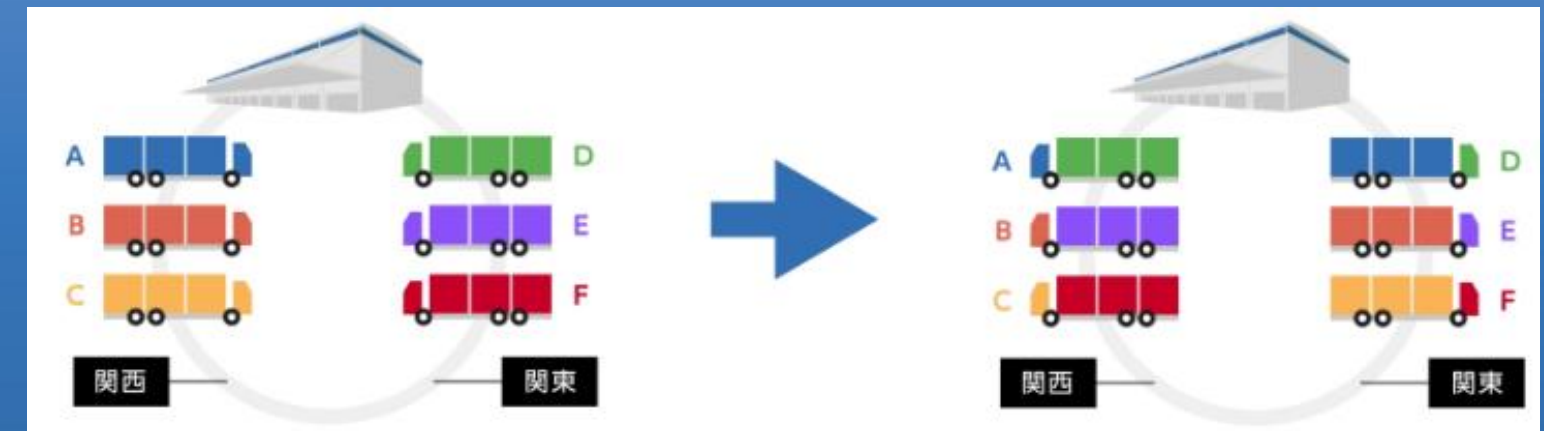
保管型中継方式



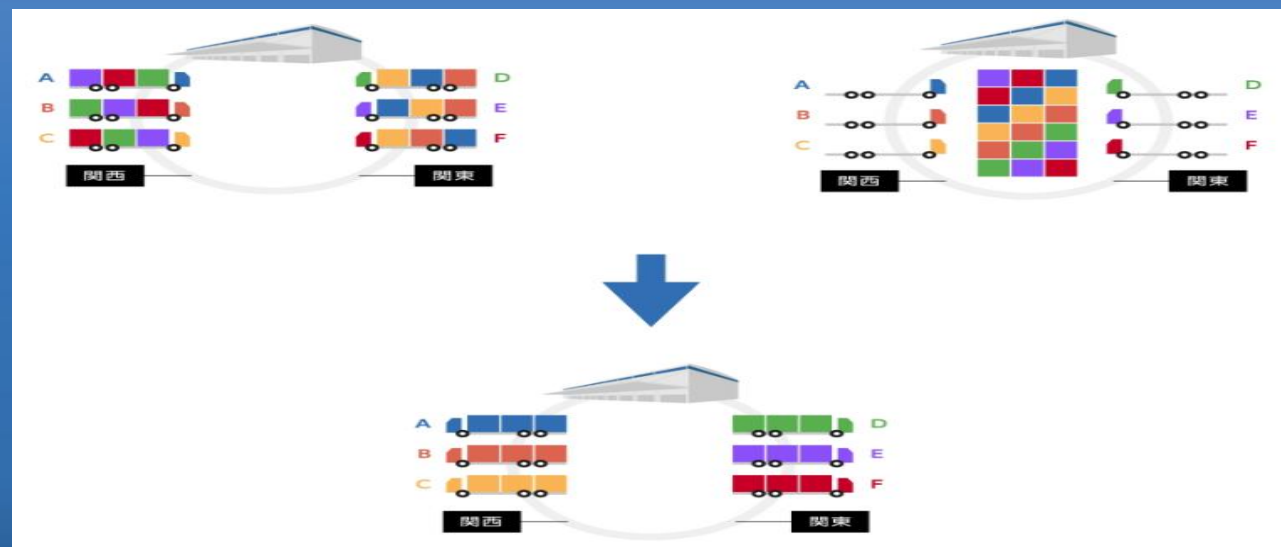
e-change・コネクタエリア浜松



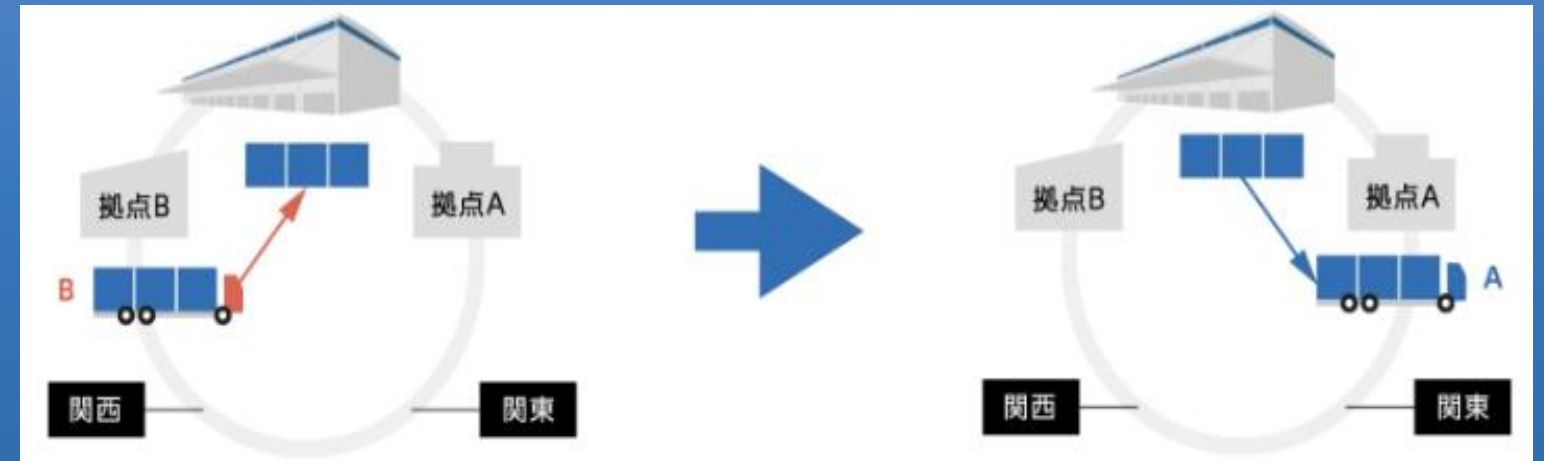
積み替えプラットフォーム



集荷配送中継方式

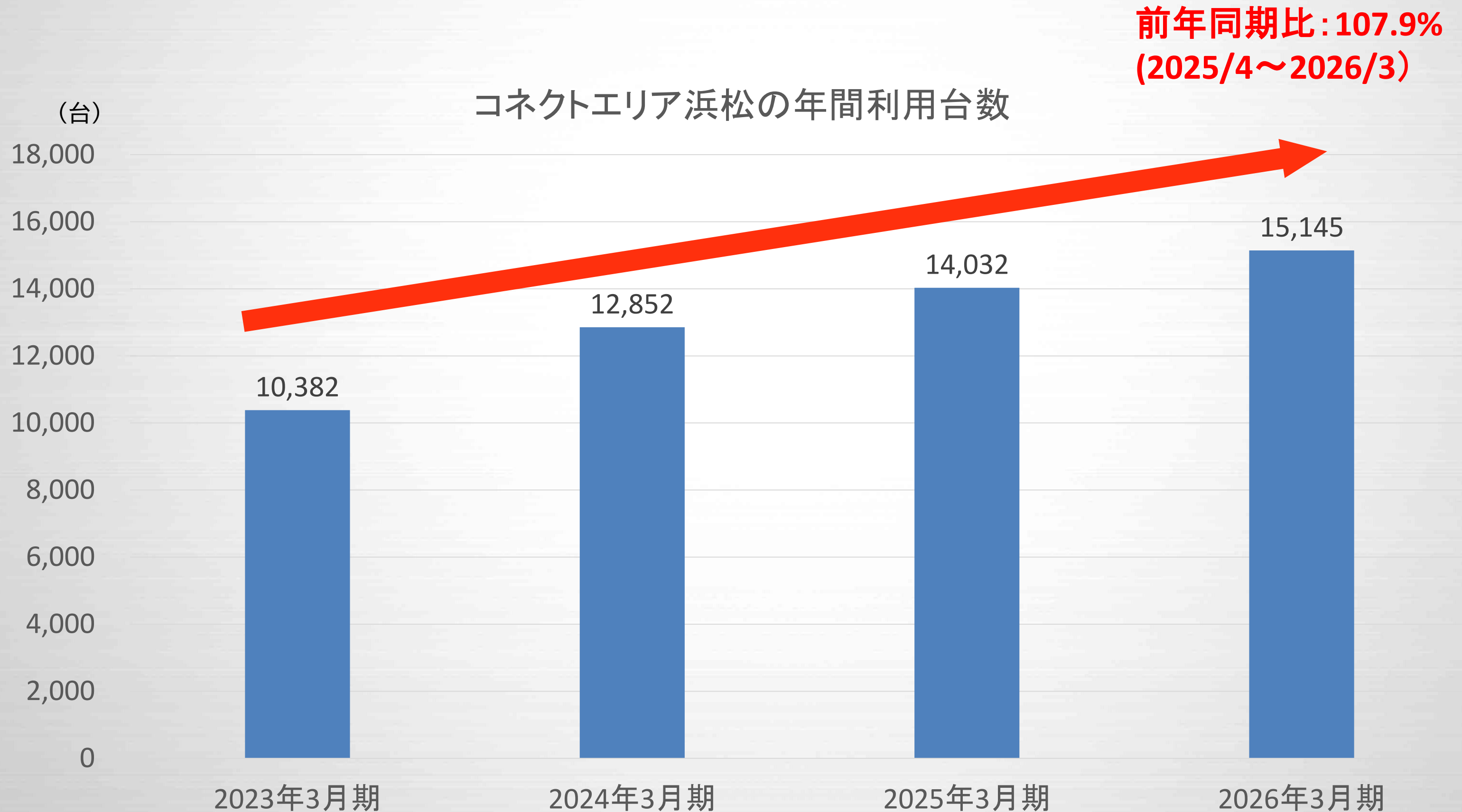


保管型中継方式





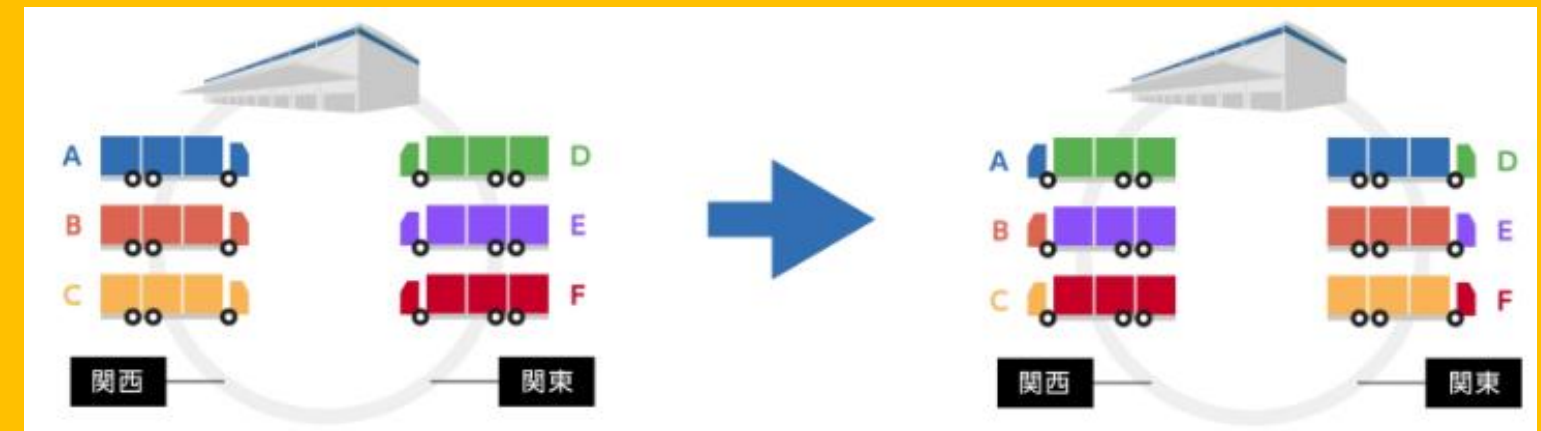
Ⅲ - 2. 戦略商品（中継輸送）



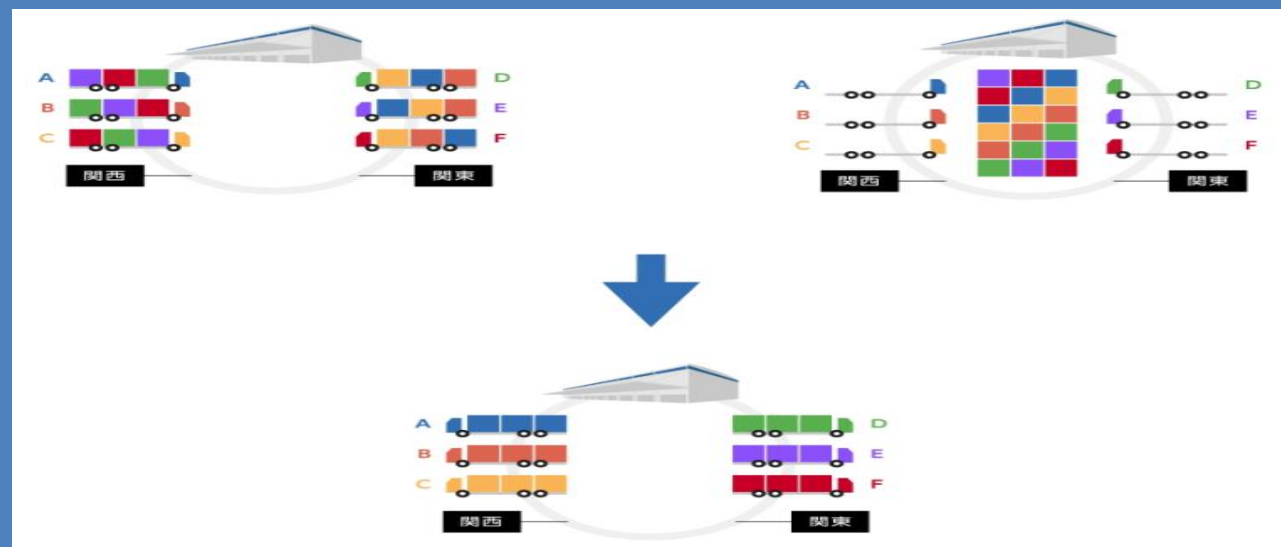
e-change・コネクタエリア浜松



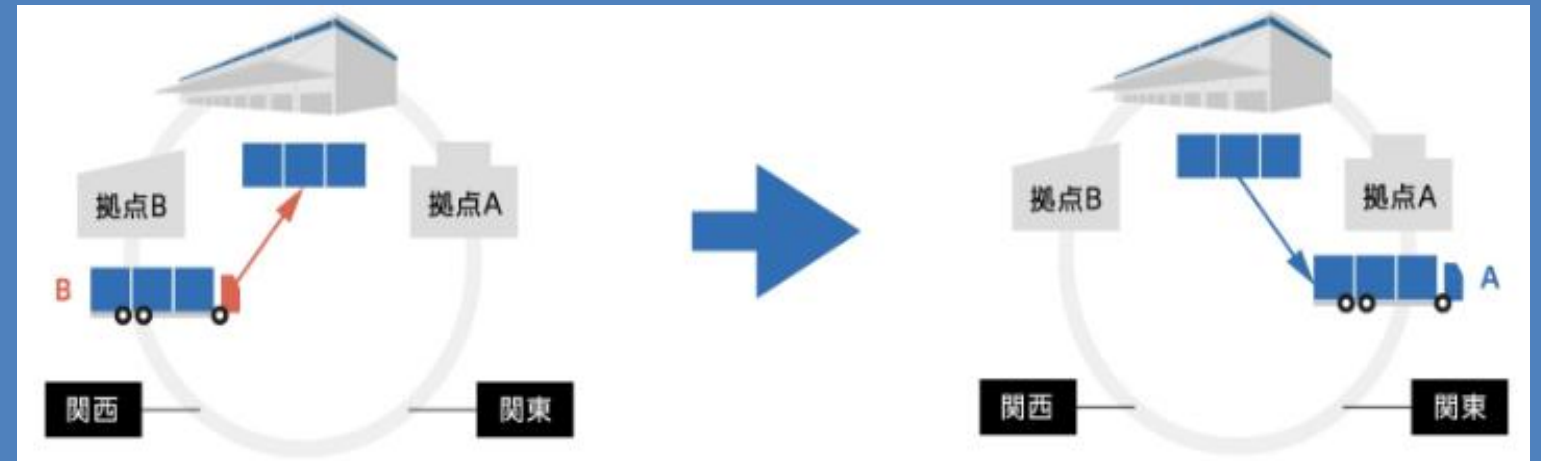
積み替えプラットフォーム



集荷配送中継方式



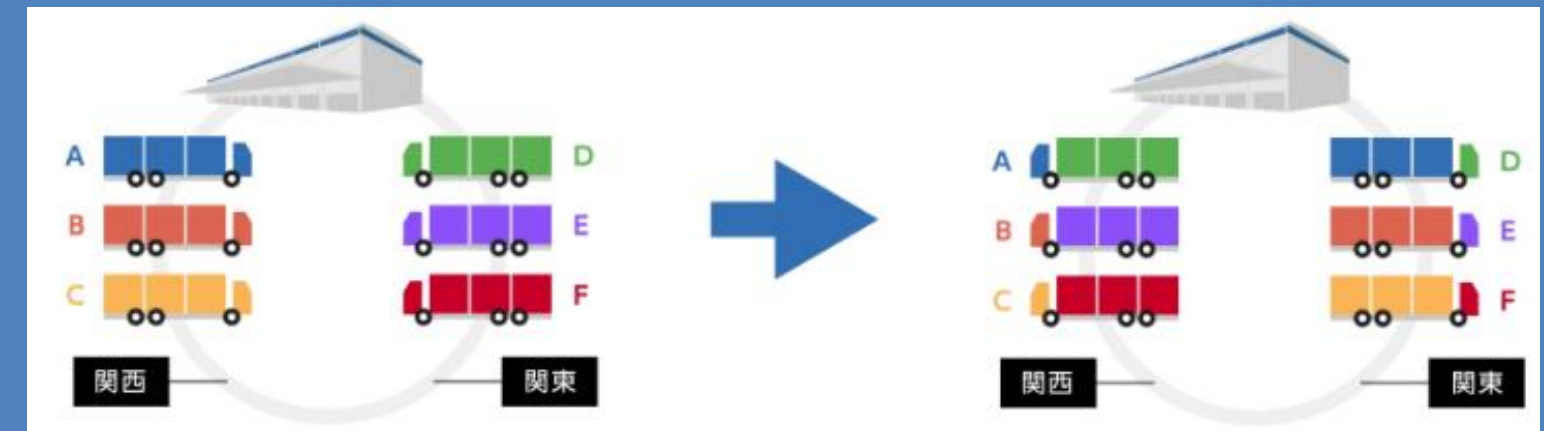
保管型中継方式



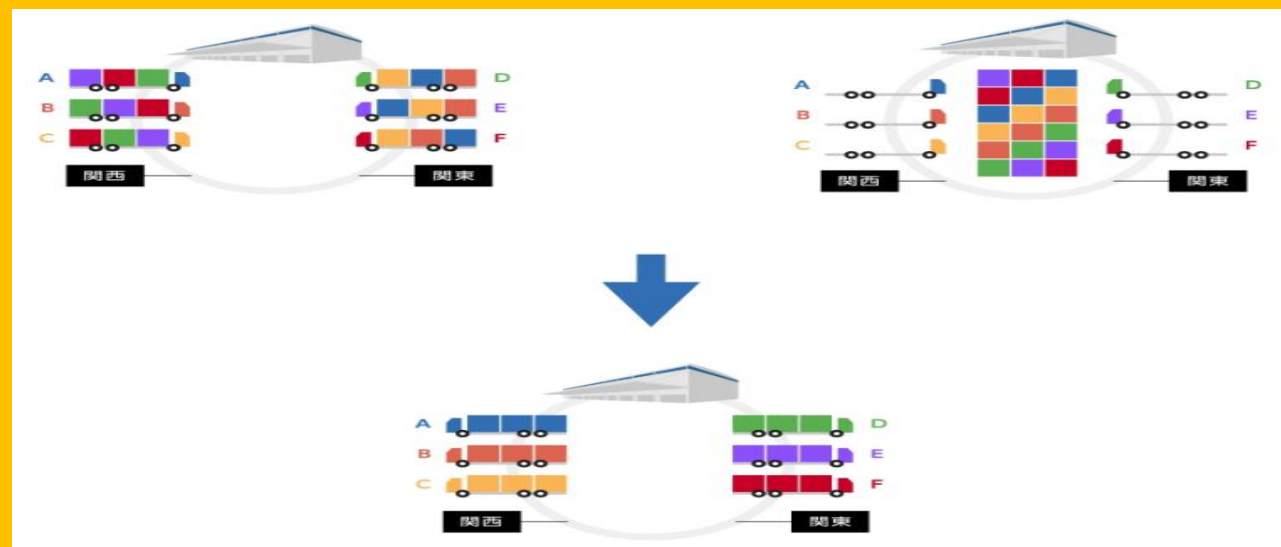
e-change・コネクタエリア浜松



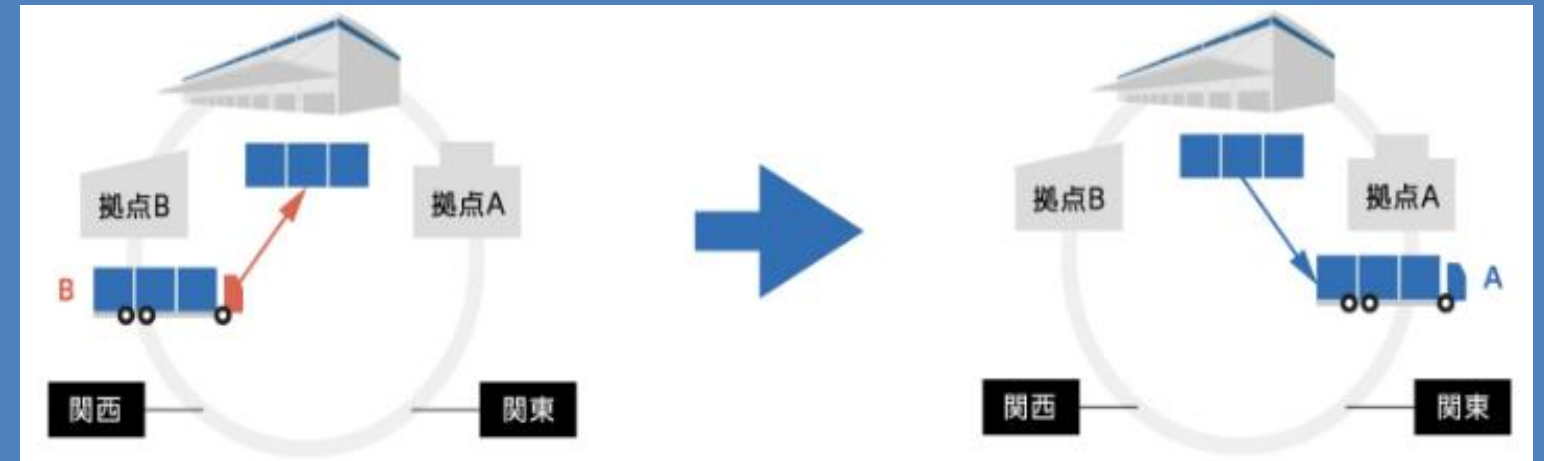
積み替えプラットフォーム



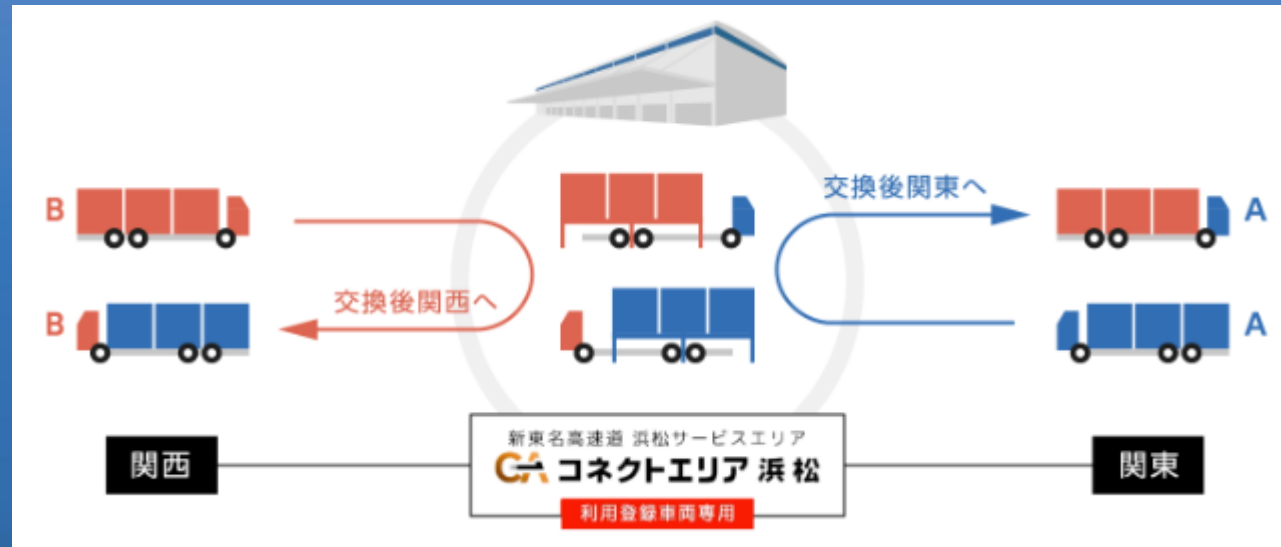
集荷配送中継方式



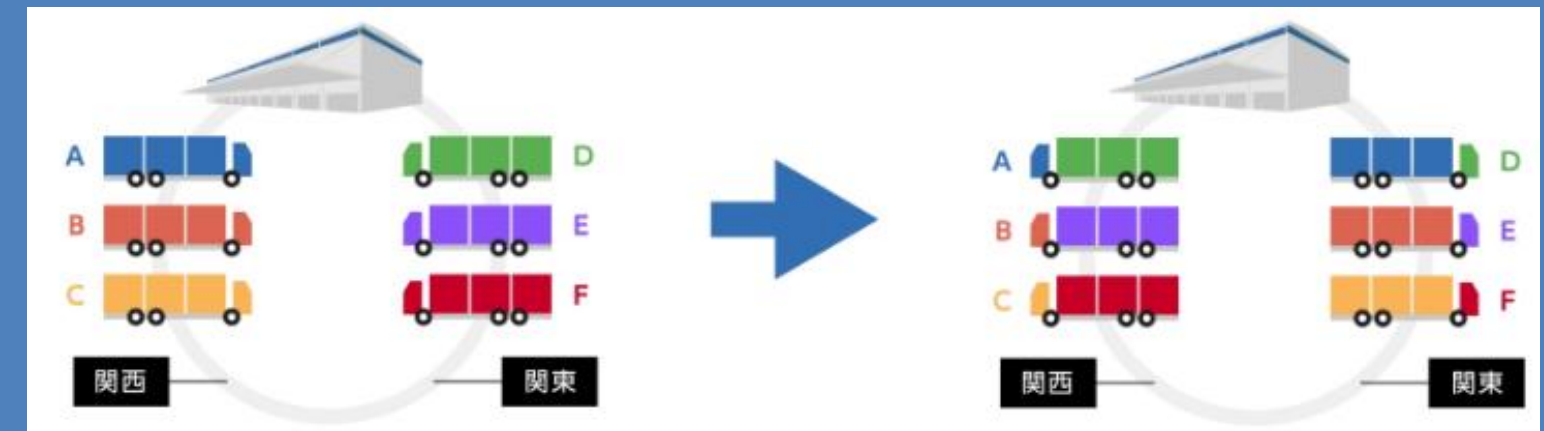
保管型中継方式



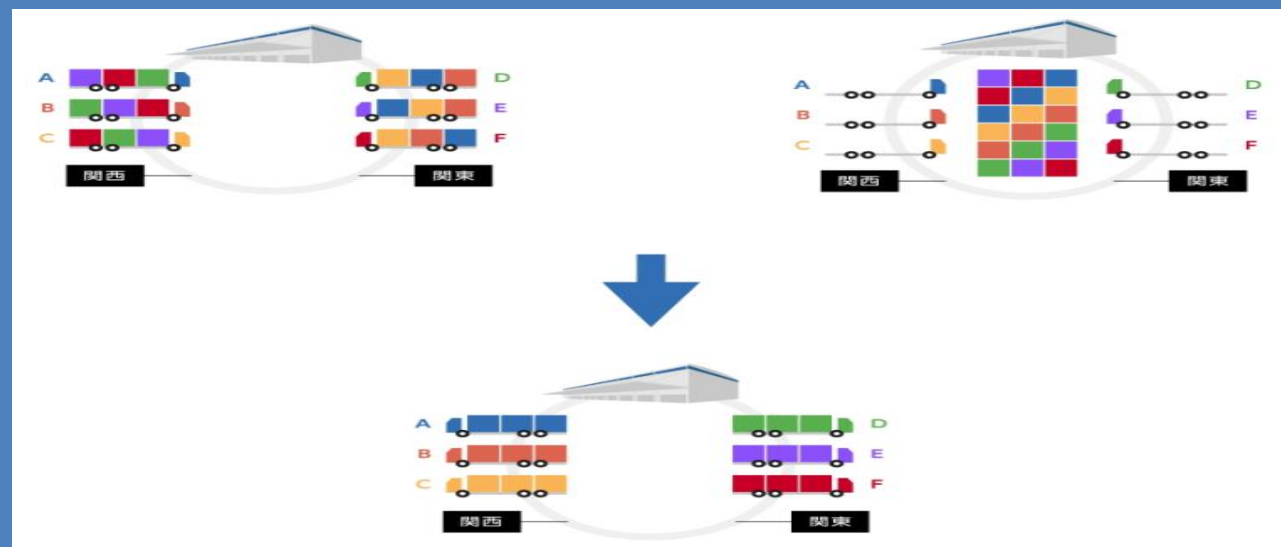
e-change・コネクタエリア浜松



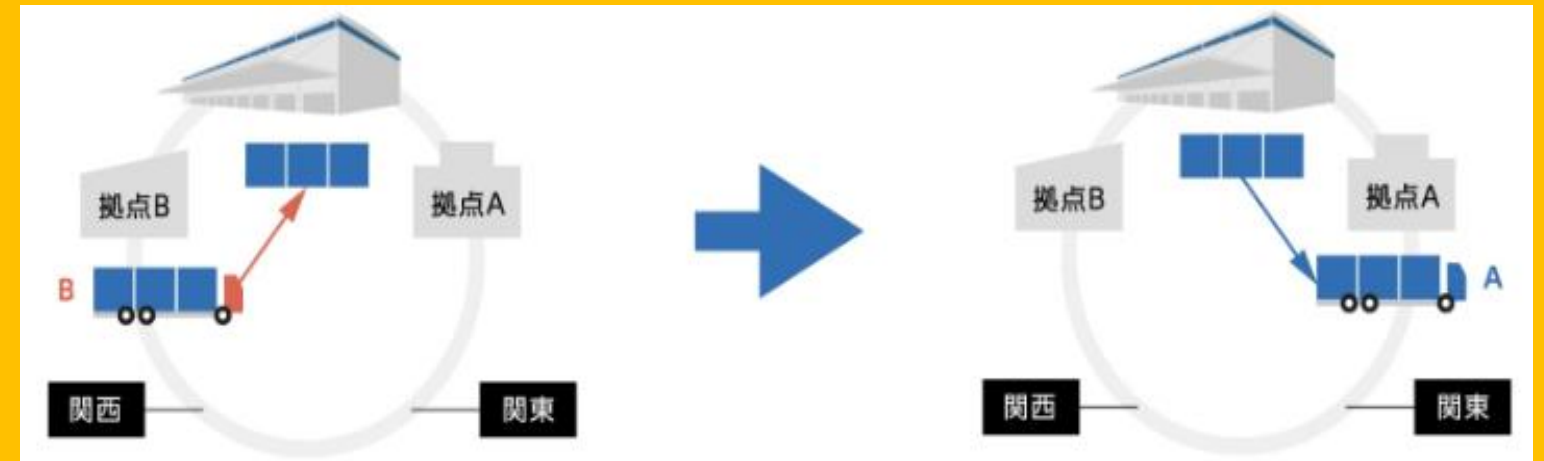
積み替えプラットフォーム

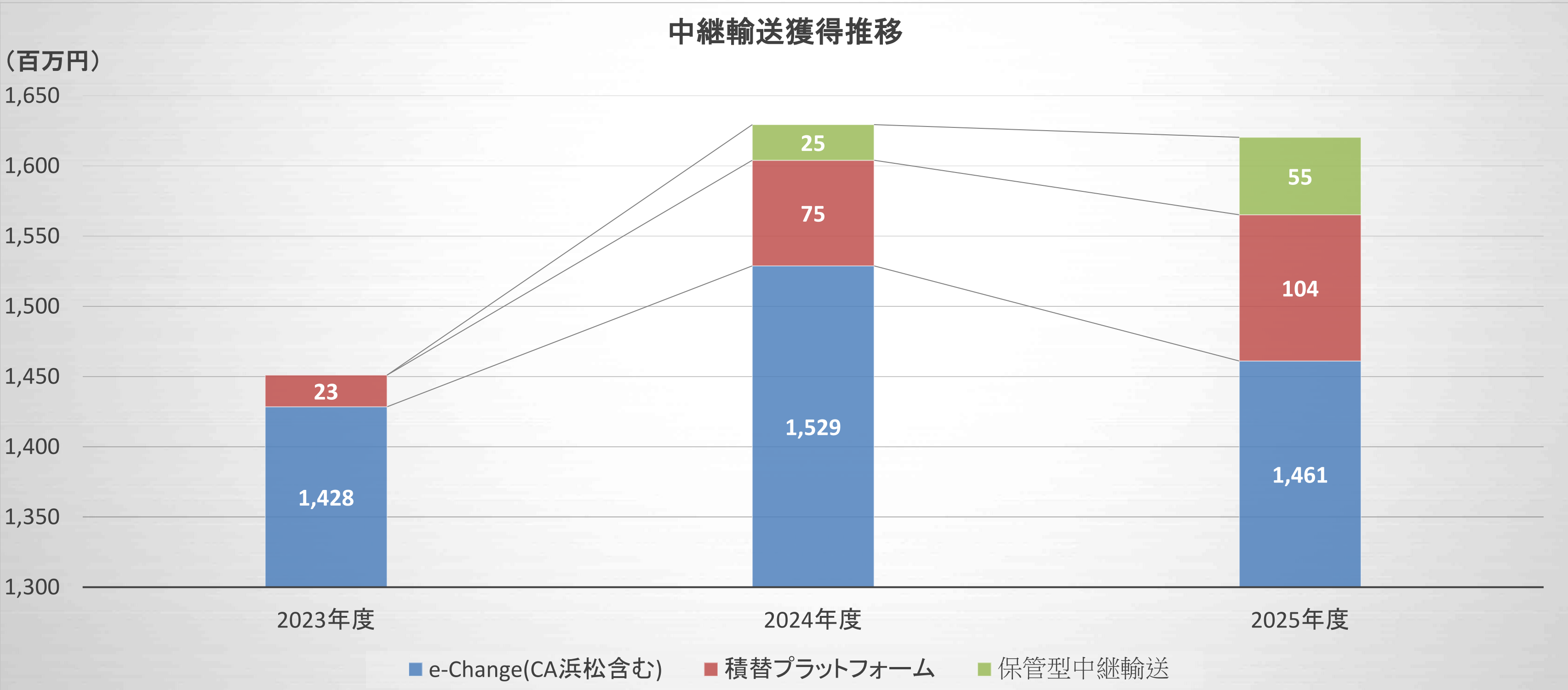


集荷配送中継方式



保管型中継方式





III - 2. 戦略商品（中継輸送）

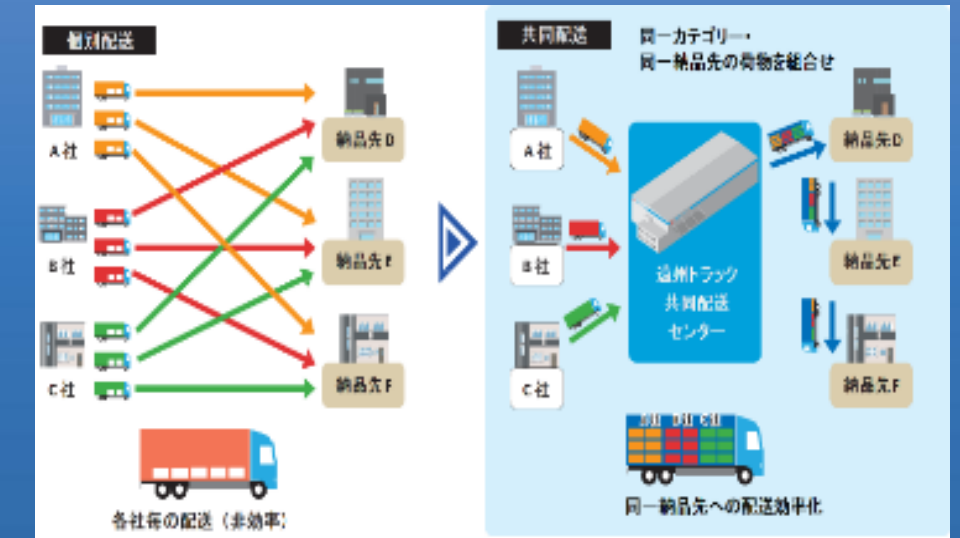
中継輸送



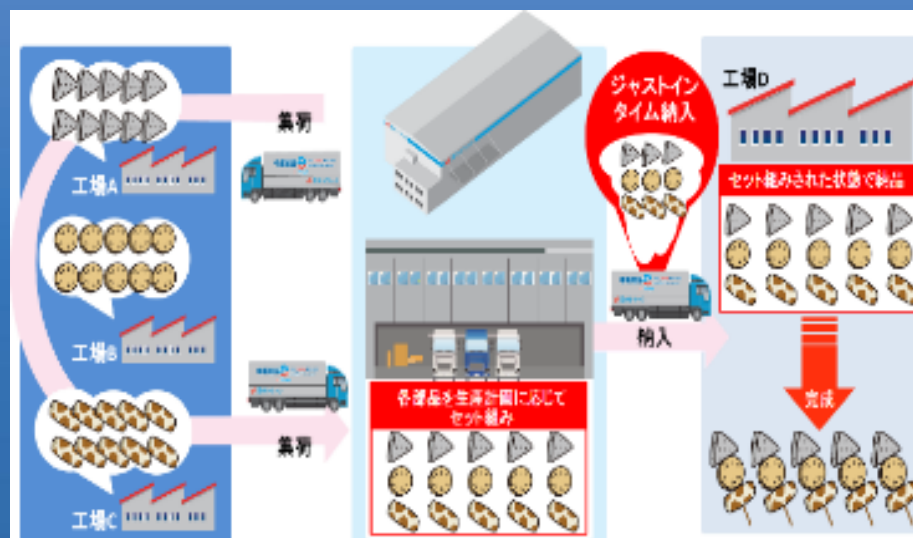
EC物流



共同配送



調達物流



物流拠点



協力会社ネットワーク



III - 2. 戦略商品（調達物流）

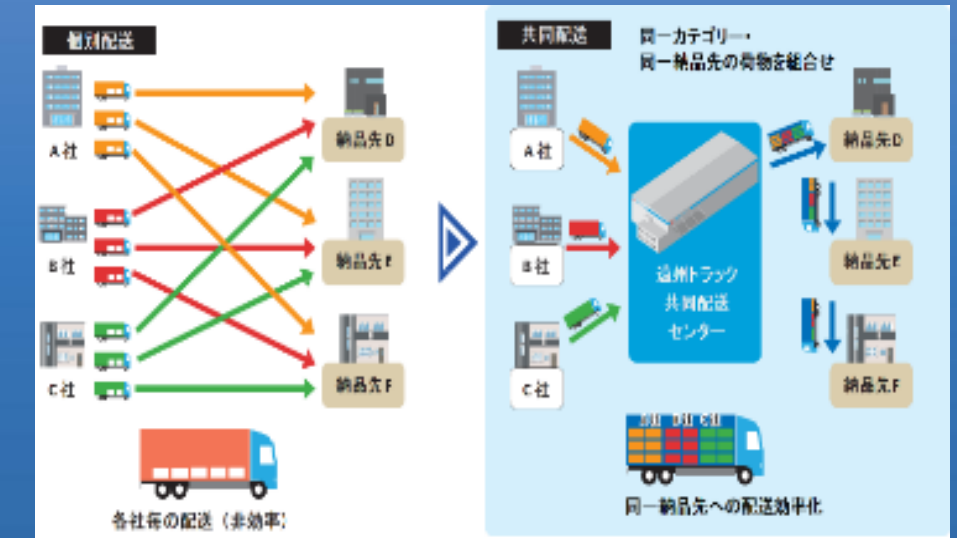
中継輸送



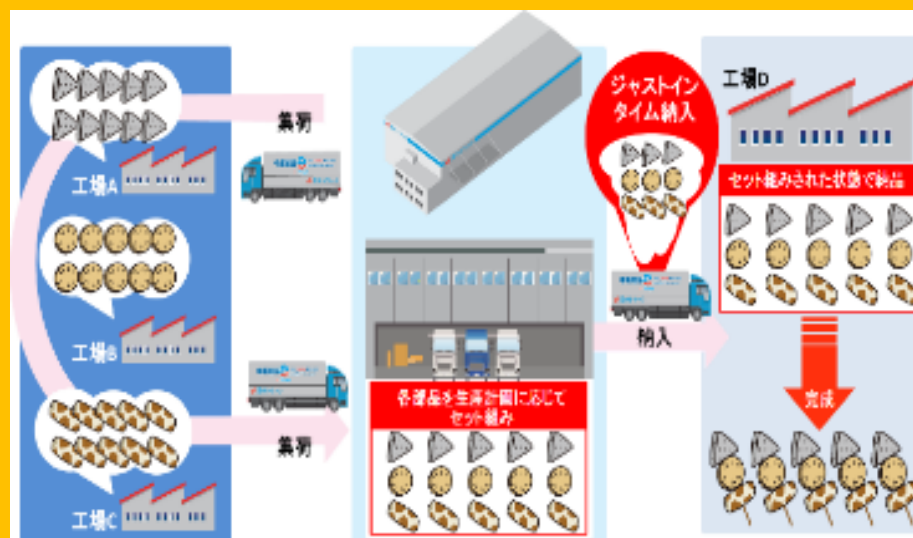
EC物流



共同配送



調達物流



物流拠点



協力会社ネットワーク



III - 3. 安全・品質に対する取り組み

●シミュレーター研修

トラックシミュレーターを使用して、危険予知運転を体験。
また実写では体験できない危険場面を体験する事が可能。



遠州トラック

●安全道場

实际的に事故・危険を**体感**させ、安全基本動作を**体験**させることにより、**安全意識**が高く、**現場で行動**できる社員を育成。



遠州トラック

●フォークリフト研修

フォークリフト事故の発生状況や当社のルールを説明。
VRによる危険体験を実施。



遠州トラック

●コンテストの実施

安全運転技術向上の為、ドライバーおよびリフトマンの技能コンテストを実施。日頃の技術を競い合いお互いに安全意識を高めあっている。



遠州トラック

●その他の研修・講習

「運行管理者研修」「整備管理者研修」「チェーン講習」
「事故撲滅トレーナー養成講座」他、各種の研修・講習を実施。



遠州トラック

●適切な点呼

「アルコール測定」「血圧測定」を乗務前に確実に実施。
疾病・疲労・睡眠不足の有無等も毎回確認。



遠州トラック

III - 4. 地域貢献・社会貢献

●交通安全教室

地域の幼稚園、小学校、中学校等で交通安全教室を実施。



遠州トラック

●地元花火大会への協賛

ふくろい遠州の花火大会メインスポンサー



遠州トラック

●スポーツクラブ・大会への協賛

地元のサッカークラブやラグビーチーム、地元出身のスポーツ選手、地域のスポーツ大会への協賛を実施。



遠州トラック

●社会貢献活動

社会福祉協議会へ日用品の寄付、防犯ブザー・交通安全啓発DVDの寄贈、交通ルールに関する注意喚起動画の投影等を実施。



遠州トラック

●サステナビリティへの取り組み

CASBEE評価の取得、太陽光発電パネルの設置、モーターシフトの推進、働きやすい職場認証制度の取得、健康経営優良法人2024(大規模法人部門)認定等。



遠州トラック



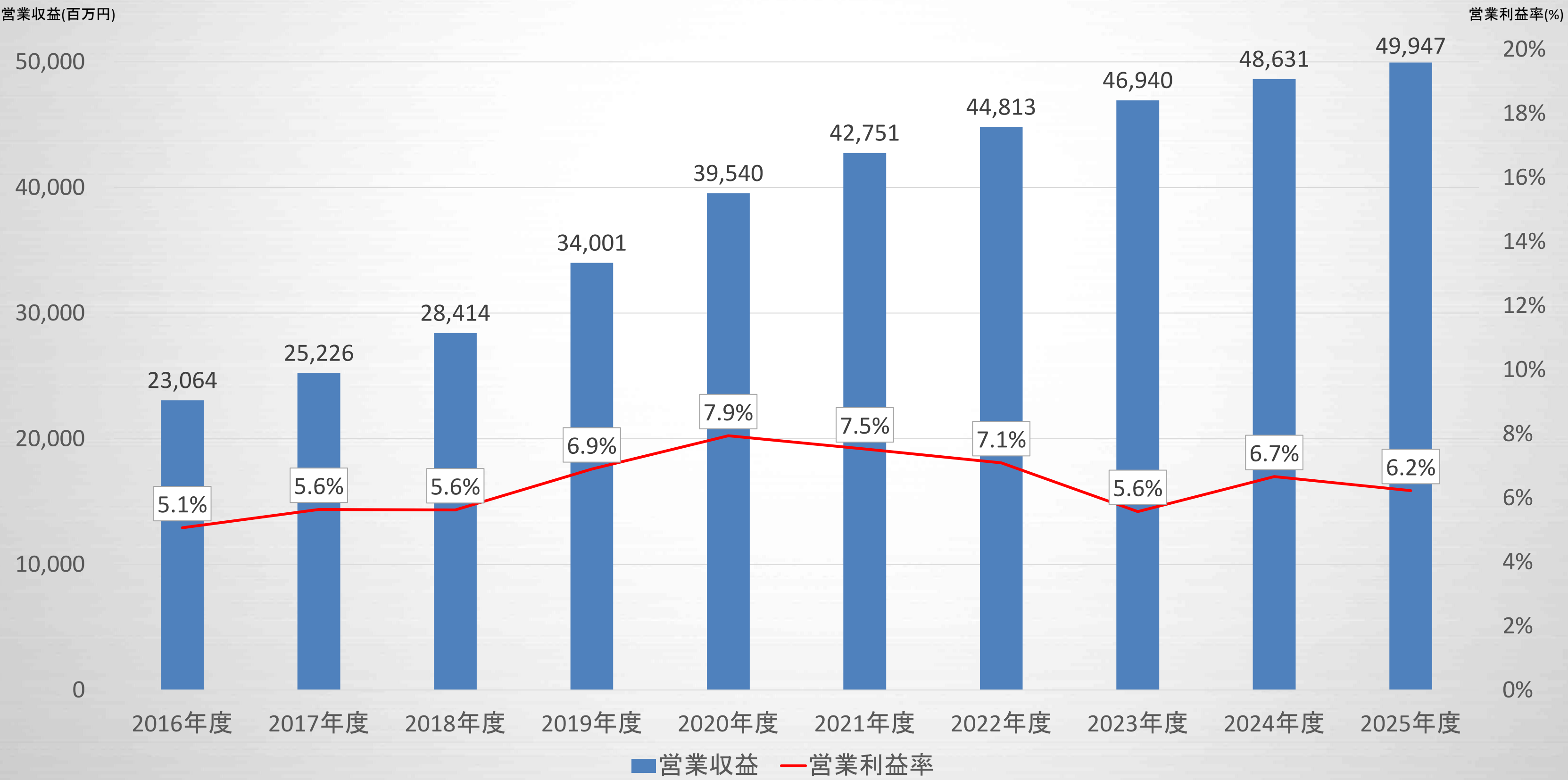
IV. 業績の概要

IV - 1. 2026年3月期業績

(単位：百万円)

連結	2025年3月期		2026年3月期		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	48,631	-	49,947	-	1,315	2.7%
営業利益	3,239	6.7%	3,108	6.2%	△131	△4.1%
経常利益	3,312	6.8%	3,109	6.2%	△203	△6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,390	4.9%	2,257	4.5%	△132	△5.5%
1株当たり当期純利益 (円)	319.96	-	302.14	-	△17.82	-
1株当たり年間配当金 (円)	96.00	-	96.00	-	0.00	-

IV - 2. 長期業績推移



V. 中期経営計画

企業戦略

1 従業員のエンゲージメントを向上させる

2 戦略商品を核に事業領域を拡大する

3 物流サービスのイノベーションに
挑戦する

4 資本コストや株価を意識した経営を実現
する

5 社会的課題への取組みを進める

主な事業戦略

- 1 新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する
- 2 戦略の推進のための投資を行う
- 3 人的資本価値を高める投資を行う
- 4 コンプライアンスを遵守し、コーポレートガバナンスの強化を進める
- 5 地球にやさしい物流に取り組む

数値目標および事業投資額(連結)

	2030年度(計画最終年度)
営業収益	61,000 百万円
営業利益	4,000 百万円
事業投資額(期間累計額)	33,000 百万円

ROE(自己資本利益率)は8%以上を目指す

配当性向は30%以上を目指す

V - 2. 中期経営計画 事業内容①(中継輸送網の拡大)



中継輸送  つなく つながる 乗りかえる!!
日本の真ん中で e-change!!
e-change



中継輸送による関東・関西間の物流サービスを、
東北、九州を初めとした各地とも接続させ、
乗務員不足で困難になる長距離輸送の問題を解決する

V - 2. 中期経営計画 事業内容②(EC物流の拡充)

東海道を中心とする幹線輸送

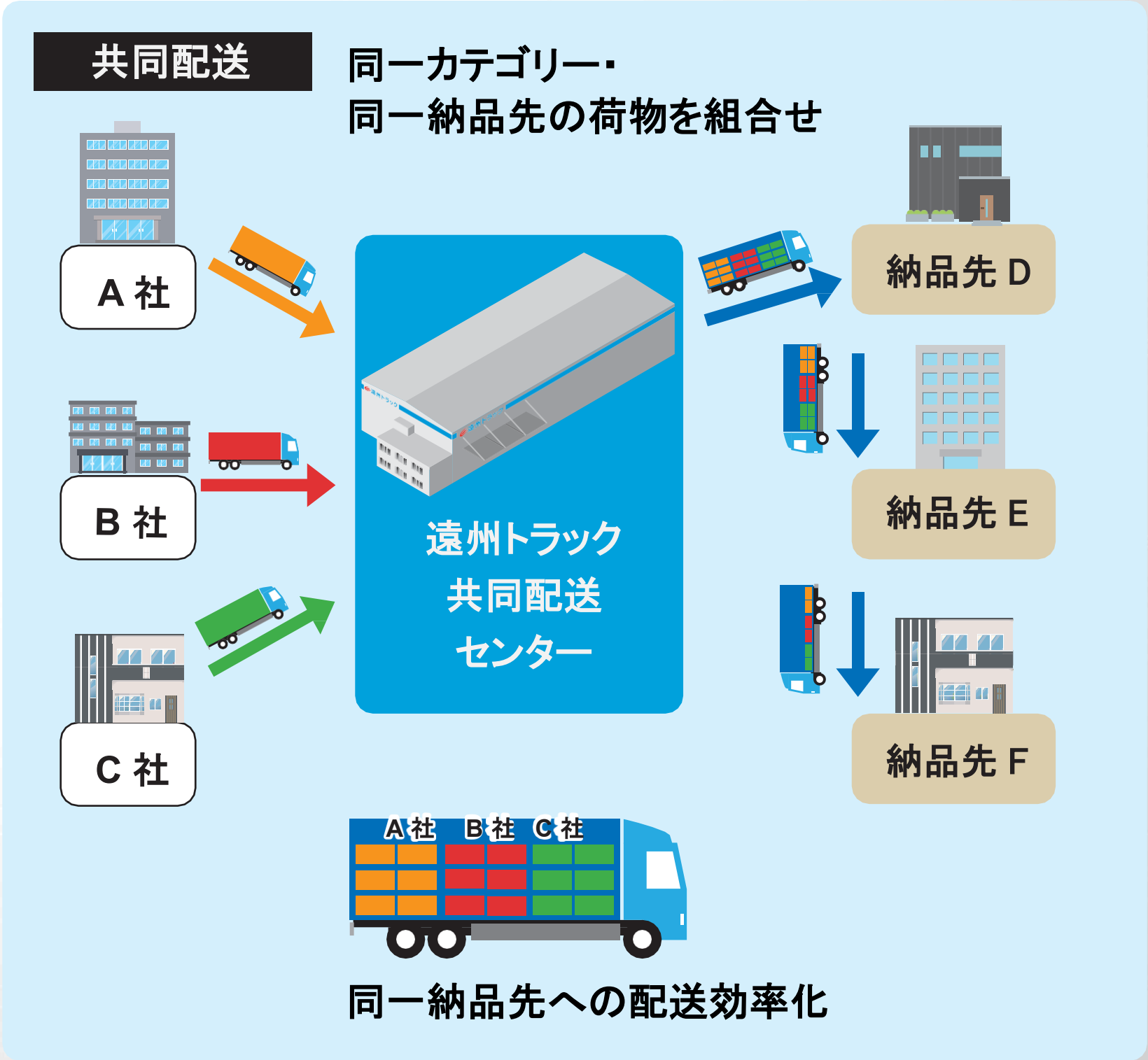
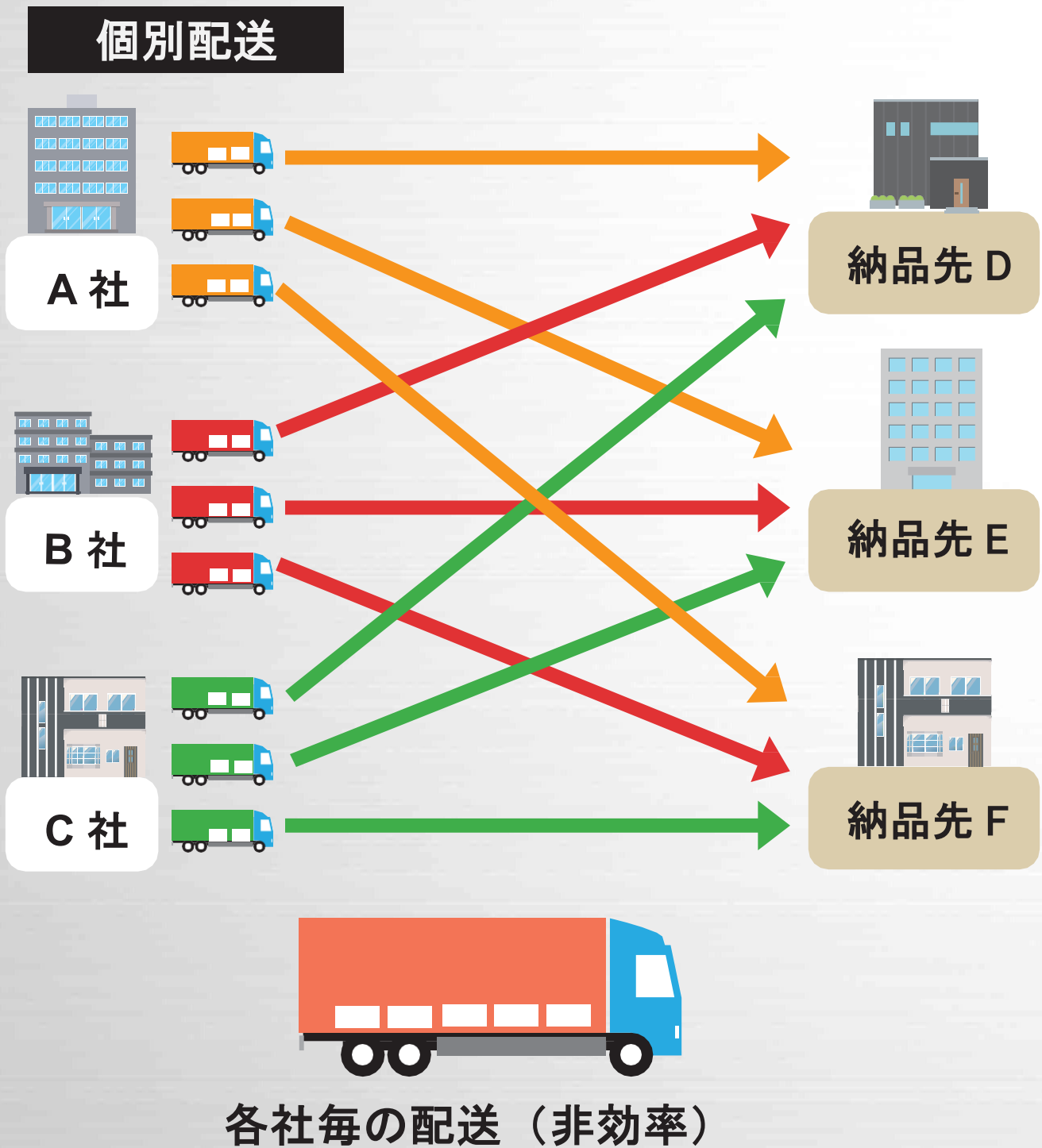


ラストワンマイル輸送



東海エリアでのEC物流ネットワークを活用して
新たなEC顧客の個配業務を開拓する

V - 2. 中期経営計画 事業内容③(共同配送網の拡大)



V - 2. 中期経営計画 事業内容④(調達物流の進化)



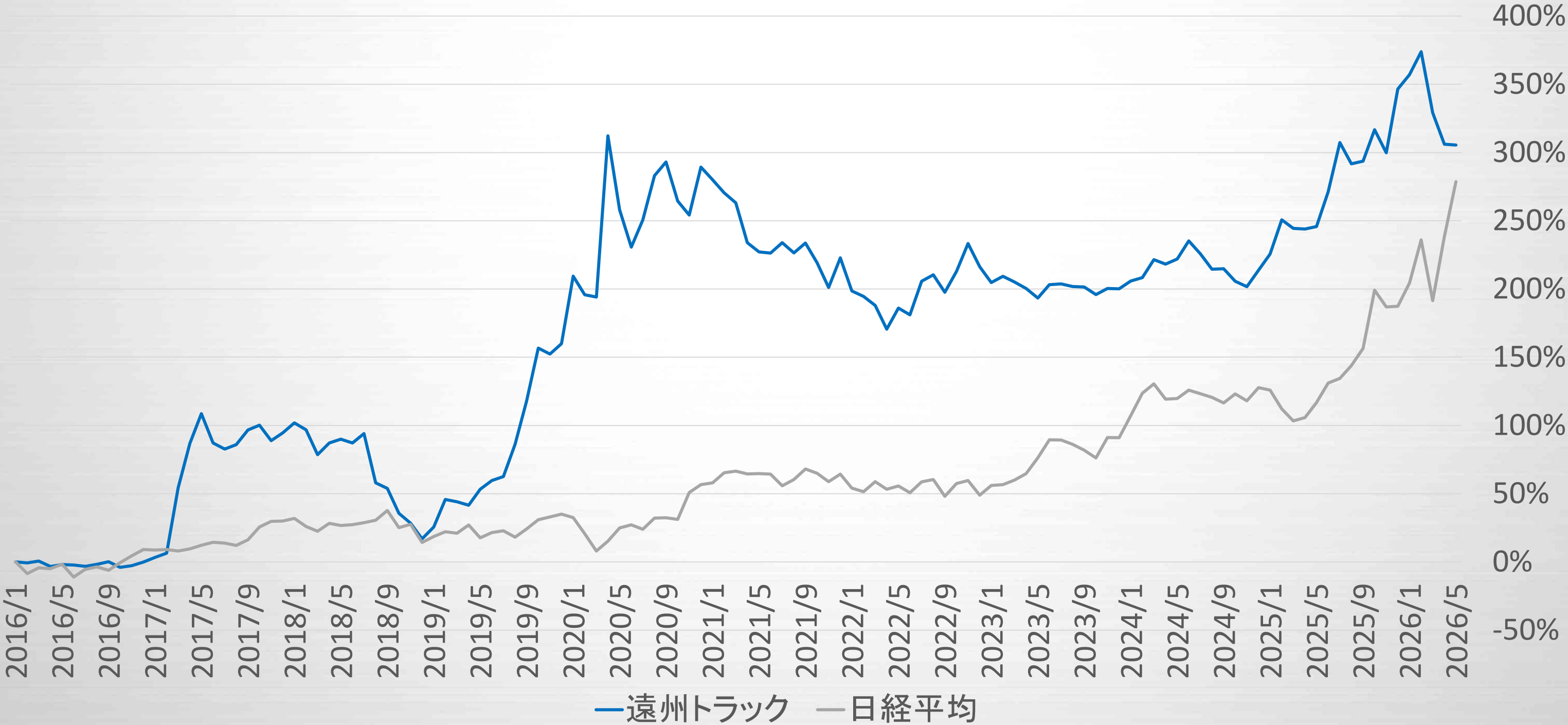
当社拠点を原料・資材を集積させる場にするに加えて、セット組み機能や多頻度適時輸送など顧客に最適な納品形態を実現させる場として進化させる

VI. 当社株式について

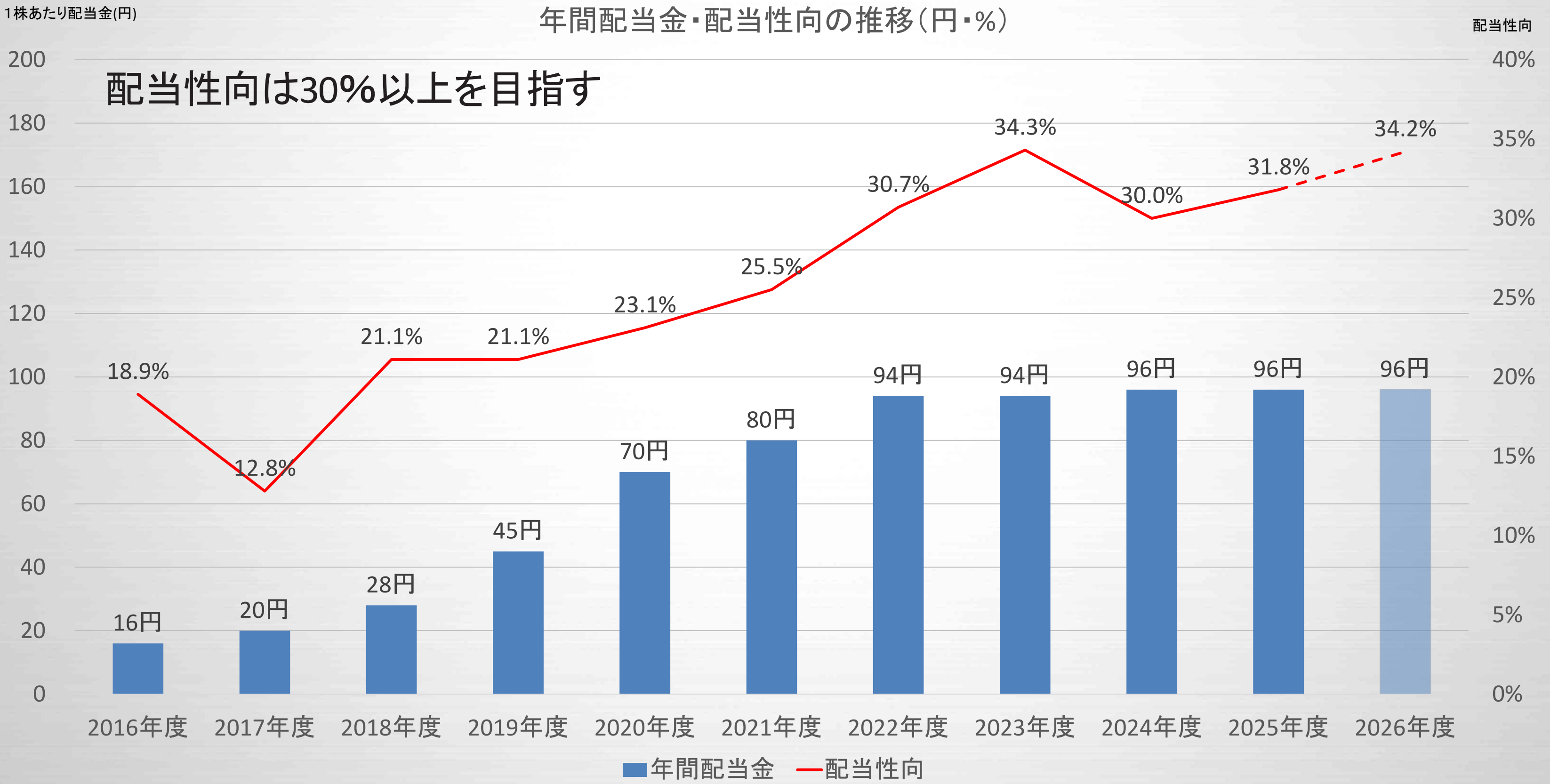
株価推移(2016.04～2026.6) (円)



株価推移(2016年1月～2026年5月)
日経平均株価との比較



VI- 2. 株主還元



毎年3月31日現在当社株式をご所有の株主様に対し、優待品を贈呈いたしております。本年は下記の基準により、いずれかおひとつの優待品をお選びいただけます。ご指定のない場合は、クオカードとさせていただきます。

株式数	優待品	
500～999株	・クオカード (2,000円分)	
1,000～1,999株	・クオカード (4,000円分) ・クラウンメロン2個	・静岡産煎茶2缶 ・治郎柿1箱 (15個)
2,000～4,999株	・クオカード (6,000円分) ・クラウンメロン3個 ・ふくろい遠州の花火入場券2枚	・静岡産上煎茶2缶 ・治郎柿2箱 (30個)
5,000株以上	・クオカード (10,000円分) ・クラウンメロン4個 ・ふくろい遠州の花火入場券4枚 ・クラウンメロン2個とふくろい遠州の花火入場券2枚	・静岡産特上煎茶2缶 ・治郎柿3箱 (45個)





＜ IRに関する連絡先 ＞

遠州トラック株式会社 総務部総務課

〒437-0046 静岡県袋井市木原22-1

TEL : 0538-42-1111 FAX : 0538-42-1114

MAIL : ir_box@enshu-truck.co.jp

Web : <https://www.enshu-truck.co.jp/>

(注) 当資料に記載されている内容は、当社が判断した種々の前提および仮定に基づいたものであり、記載された将来の計画・目標数値、施策の実行を確約または保証するものではありません。実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

ご参考資料



中期経営計画

2026-2030



企業戦略

1 従業員のエンゲージメントを向上させる

2 戦略商品を核に事業領域を拡大する

3 物流サービスのイノベーションに挑戦する

4 資本コストや株価を意識した経営を実現する

5 社会的課題への取組みを進める



従業員が仕事に対する誇りとやりがいをもって働ける
安全な労働環境をつくり、従業員のエンゲージメントを
向上させる

働きがい



高齢化

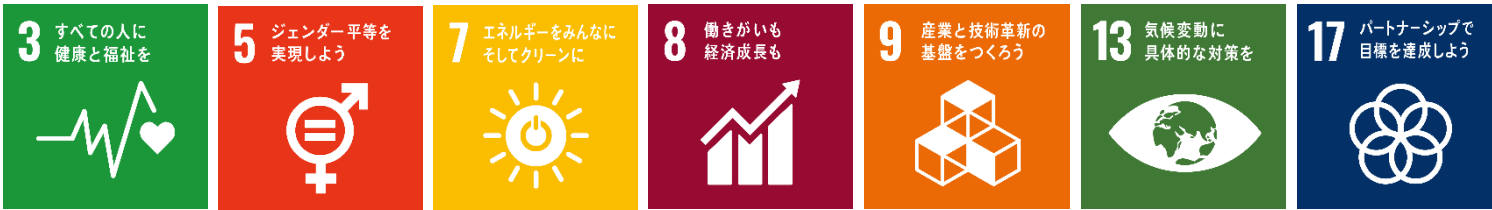


労働環境



多様化





戦略商品を核に関東・関西間の物流サービスを拡充して、事業領域を拡大する

拡大に際しては、安全品質を向上させながら、当社車両と乗務員、作業員で運営する自社輸送体制を堅持し、お客様のニーズに柔軟に対応する能力を確保します。

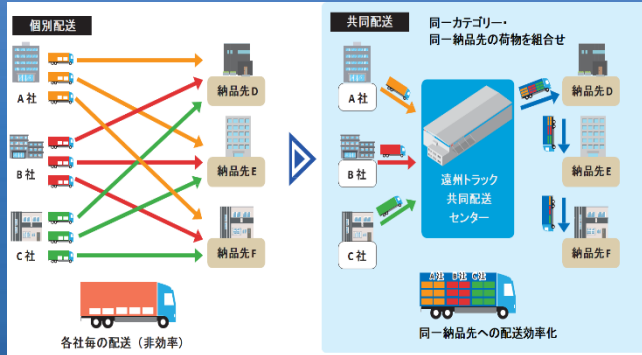
中継輸送



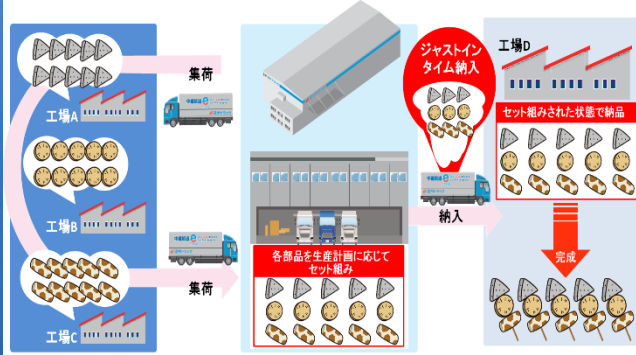
EC物流



共同配送



調達物流



物流拠点



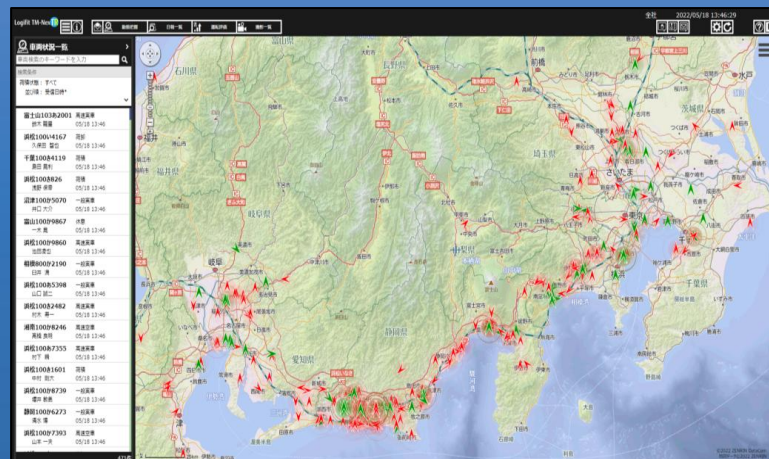
協力会社ネットワーク





先端技術の積極的な導入により、
DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、
未来に向けた物流サービスのイノベーションに挑戦する

データとデジタル技術を活用

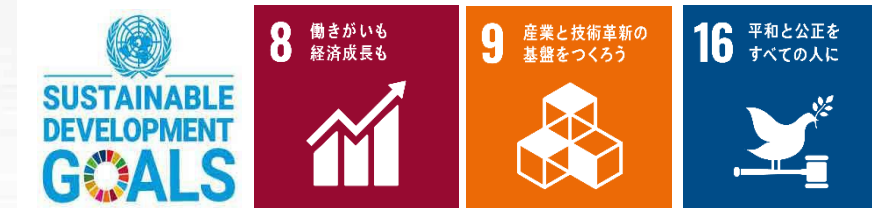


業務の効率化と省人化



基幹システムを刷新





資本コストを意識した成長投資を進め、経営資源を企業成長と株主還元適切に配分します。

また、株主及び投資家の皆様との対話や情報開示の強化を進めて、適正な株価が形成されるよう努めます。

事業成長の追求に加え、資本コストや株価を強く意識した経営へと進化してまいります。

成長投資・財務健全性・株主還元のバランスを重視し、投下資本の効率性を高めることで、持続的な企業価値向上を目指します。

また、株主・投資家の皆様との建設的な対話を通じ、当社の成長戦略と企業価値が適切に評価される環境づくりに取り組んでまいります。



法令を遵守し、お客様と共同して地球環境にやさしい物流機器の導入（物流の改善）を進めます。また、地域の交通安全づくりや行事への参画を通じて社会の持続的な成長に貢献します。

モーダルシフト



車両の電動化・自動化



CASBEE評価の取得(※)



地元花火大会のボランティア



交通安全教室



社会貢献活動



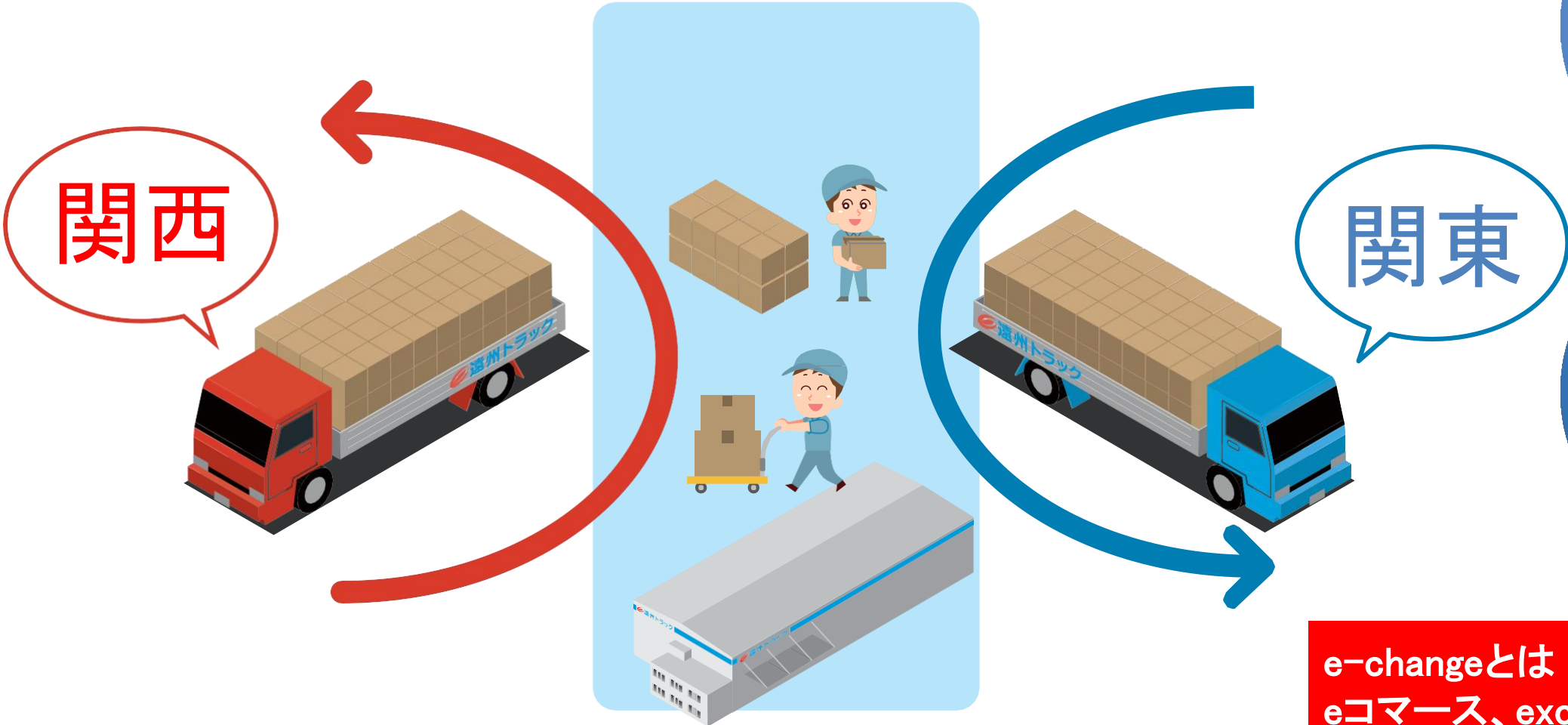
(※)CASBEEとは
一般財団法人建築環境・省エネルギー機構が開発した建築物の環境性能を総合的に評価する制度のことです。



中継輸送 つなく つながる 乗りかえる!!
日本の真ん中で e-change!!



乗務員が日帰りできる
関東・関西間の物流サービス



- お客様の
長距離輸送の
集車難解消
- ドライバーの
負担の軽減

- ホワイト
物流を推進
- 2024年問題
に対応

e-changeとは
eコマース、exchange(交換)と当社名の頭文字から名付けた
中継輸送を表す商標です。



中継輸送  **つなく つながる 乗りかえる!!**
日本の真ん中で e-change!!



中継輸送による関東・関西間の物流サービスを、
東北、九州を初めとした各地とも接続させ、
乗務員不足で困難になる長距離輸送の問題を解決する

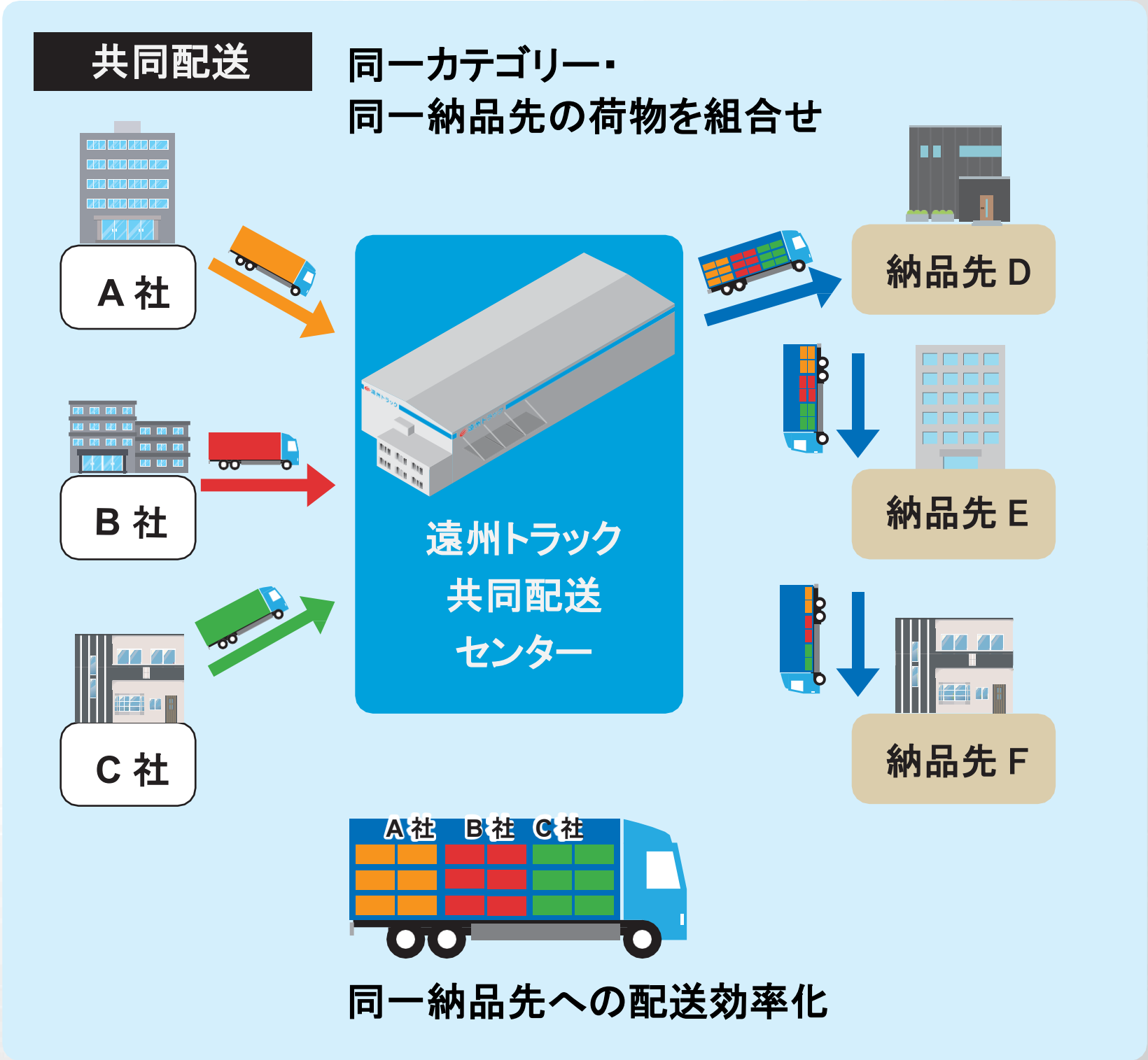
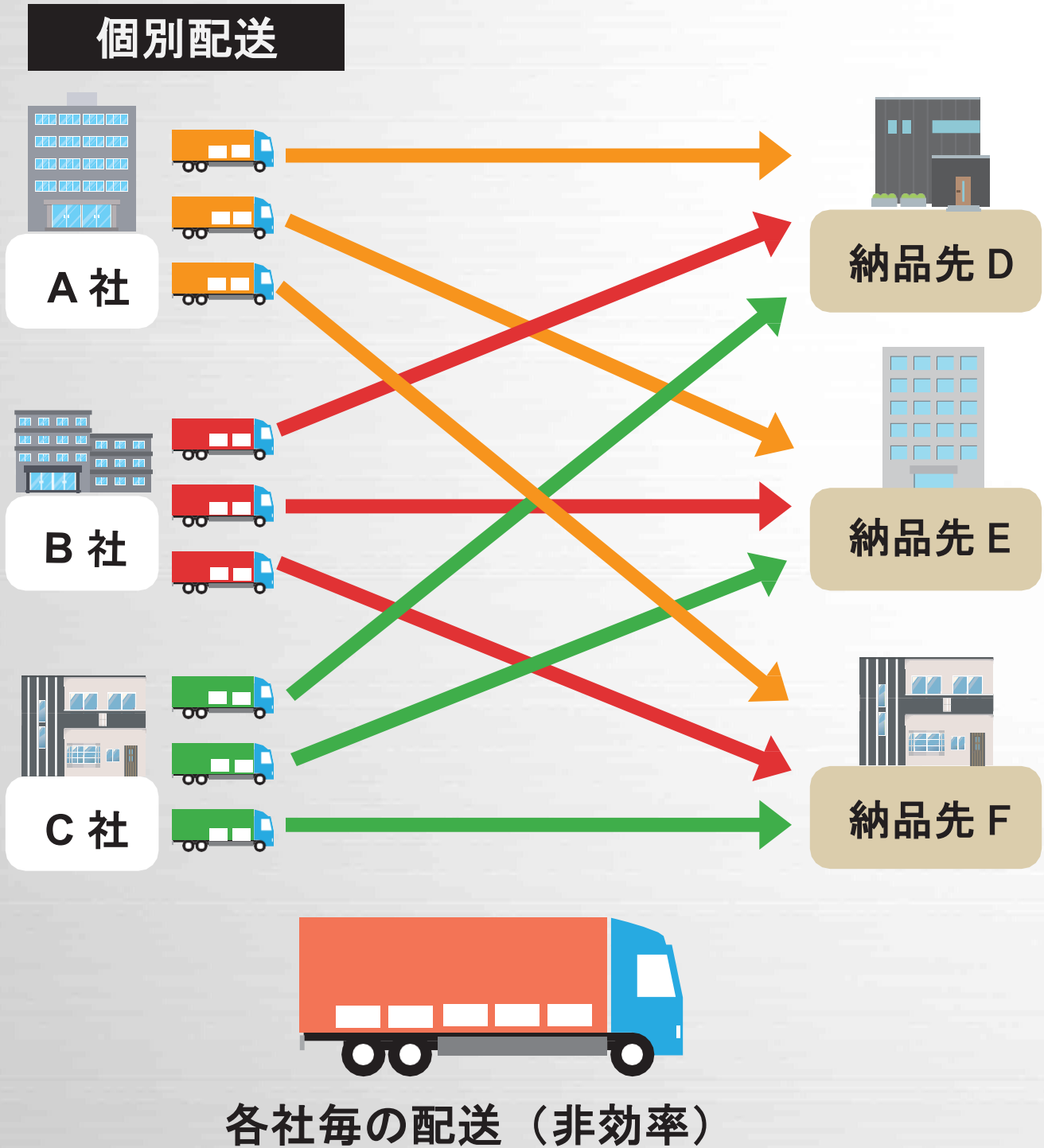
東海道を中心とする幹線輸送



ラストワンマイル輸送



東海エリアでのEC物流ネットワークを活用して
新たなEC顧客の個配業務を開拓する





SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナリシップで
目標を達成しよう







当社拠点を原料・資材を集積させる場にするに加えて、セット組み機能や多頻度適時輸送など顧客に最適な納品形態を実現させる場として進化させる



当社グループの体制の強み

- ・車両650台
- ・ 全国27拠点
- ・配車センター配置
(24時間体制・集中管理)
- ・中継拠点の設置
- ・ドライバー教育の充実
- ・自社整備体制

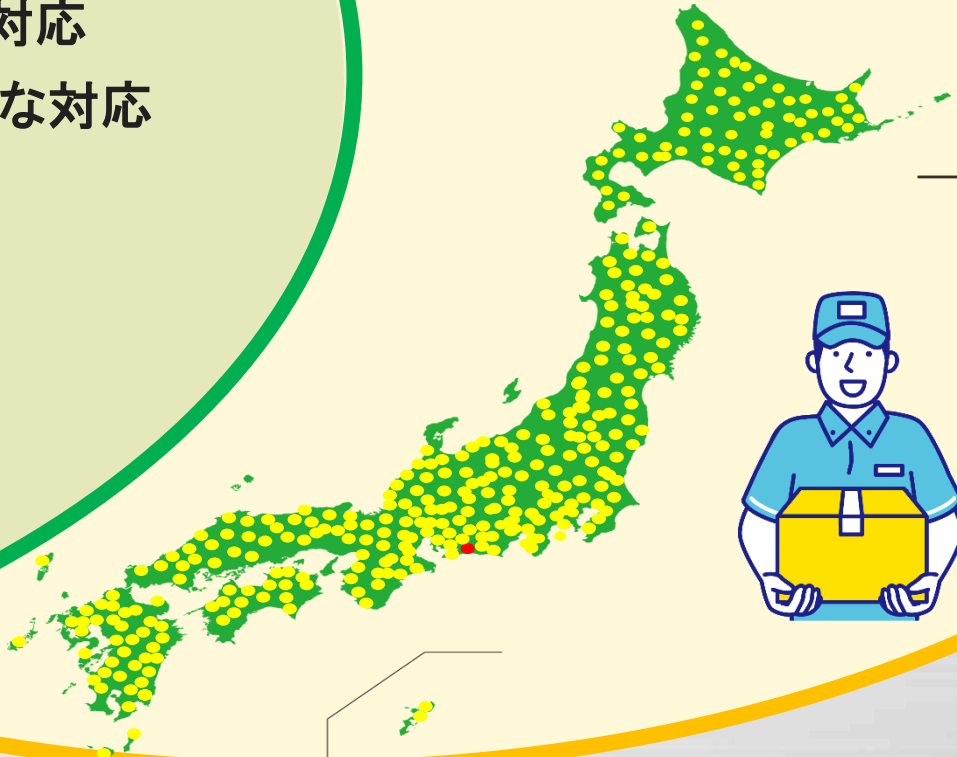


顧客の需要

- ・物量変動に対する柔軟な対応
- ・イレギュラーに対する迅速な対応
 - ・安心安全な輸送
 - ・最適な物流提案

協力会社との連携

- ・日本全国に400社以上
- ・日本全国への配送網
- ・ドライバー教育の充実



1. DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、 物流サービスのイノベーションに挑戦する



9 産業と技術革新の
基盤をつくる

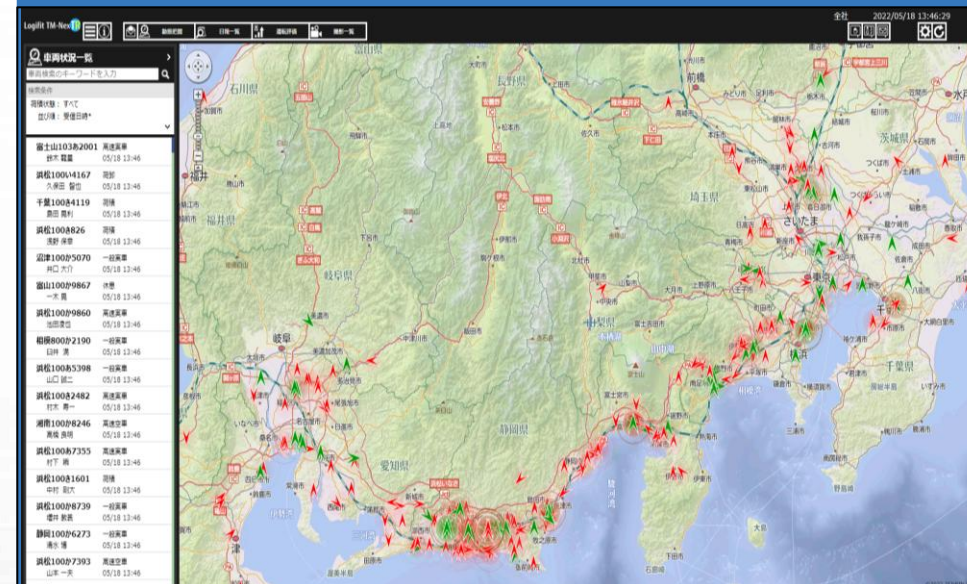


最新技術の導入



効率化・省人化

AI、IoT、RPAの活用



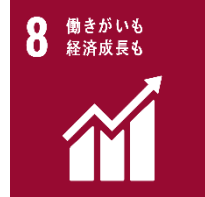
生産性向上

基幹システムを刷新



DXを推進

1. 人材が事業の価値を高める人的資本であると捉えて投資する



従業員の処遇と
職場環境の改善



多様な人材の
募集と確保



従業員の
健康保持・増進

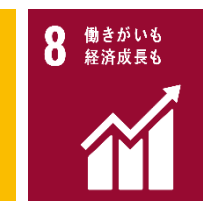


従業員のエンゲージメントを高め、組織の活性化や生産性の向上につなげる

- 乗務員等の時間外労働の上限規制の適用に伴う構造的な変化や、慢性的な労働力不足に法令遵守で対応する
- コーポレートガバナンスコードに対応したガバナンス強化を進める



事業戦略5 地球にやさしい物流に取り組む



- 中継輸送、共同配送、調達物流の最適化、モーダルシフト等の提案により、社会的課題であるCO2削減に積極的に取り組む

数値目標および事業投資額（連結）

	2030年度（計画最終年度）
営業収益	61,000 百万円
営業利益	4,000 百万円
事業投資額（期間累計額）	33,000 百万円

ROE(自己資本利益率)は8%以上を目指す

配当性向は30%以上を目指す

（注）当資料に記載されている内容は、当社が判断した種々の前提および仮定に基づいたものであり、記載された将来の計画・目標数値、施策の実行を確約または保証するものではありません。実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により異なる結果となる可能性があります。